

年 報

第 1 9 号

平成 2 6 年度

千 葉 県 立 関 宿 城 博 物 館

目 次

I 沿革	1	[6] パネル展「写真で見る日本の城」	18
II 施設・用地		[7] パネル展「戦国武将・築田氏の世界」	18
1 建築等の概要	7	[8] 凧の競演	19
2 設備の概要	7	[9] 出前展示 パネル展「戦国期から江戸期の関宿」	19
3 工事関係者	7	2 教育普及活動	
4 監理	8	[1] 講座	
5 視聴覚機器	8	(1) 歴史講座	
6 その他備品	8	① 通運丸で結ばれた関宿・野田・流 山	19
7 博物館敷地	8	② 古文書を読む	19
8 施設面積	9	(2) 博物館セミナー	20
9 日本庭園内樹木等	9	(3) 野外講座	
10 道路案内板設置場所	10	① 歴史散歩	22
III 組織と運営		(4) 郷土食講座	
1 組織・職員		① そば打ち	22
(1) 組織	11	② 小麦まんじゅうづくり	22
(2) 職員	11	③ 投網漁と川魚料理	23
(3) 展示協力員	11	④ こんにゃくづくり	23
2 入館者の統計		⑤ 鷹菜漬け	23
(1) 平成26年度入館者数及び累計	11	[2] 体験教室—みんなでふれあい体験—	
(2) 平成26年度利用状況	12	(1) 河川敷のいきものさがし	
(3) 展覧会別入館状況	14	① 草花あそび	24
(4) 入館者の状況	14	② バッタさがし	24
3 ミュージアムショップの状況	14	(2) 飛ばせ水ロケット	24
IV 平成26年度の事業概要		(3) 関宿城下を歩こう(1日コース)	24
1 展示活動		(4) 関宿城下を歩こう(半日コース)	24
[1] 常設展「河川とそれにかかわる産業」		(5) 版画年賀状教室	25
(1) 房総の河川		(6) 関宿城新春たこあげ	25
～近現代の利根川・江戸川～	15	(7) 大福帳型ミニテキストを作ろう	25
(2) 房総の河川		[3] 写真展・スケッチ展・版画展	
～近世の利根川・江戸川～	15	(1) 写真展	
(3) 河川交通と伝統産業	15	① 第15回関宿城百景写真展	26
[2] 常設展「関宿藩と関宿」	15	(2) スケッチ展	
[3] 地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿・ 野田・流山—海運へのタ ーニングポイント」	15	① 関宿城写生コンクール作品展	26
[4] コーナー展「浮世絵に描かれた富士山」	17	(3) 版画展	
[5] 2014年国際博物館の日記念事業 「昔のくらし展」	18	① 地井紅雲版画展—白と黒の世界 part 2—	26
		② 地井紅雲版画展—白と黒の世界 part 3—	27

[4]	イベント	
(1)	第16回関宿城将棋大会	
①	大人の部	27
②	子どもの部	27
(2)	関宿城で初日の出を見よう	27
(3)	第19回関宿城まつり	
	第7回関宿城さくらまつり	28
[5]	刊行物	28
[6]	情報提供	
(1)	新聞での情報	28
(2)	テレビでの報道	29
(3)	ラジオでの報道	29
(4)	ホームページによる広報	29
[7]	平成26年度の博物館実習について	29
[8]	学校との連携	
(1)	団体見学の対応	29
(2)	異業種体験研修	29
(3)	フォローアップⅡ研修	30
[9]	社会教育機関との連携	
(1)	団体見学の対応	30
(2)	出前講座	30
(3)	出前展示	30
[10]	ボランティア活動状況	30
3	資料の収集・整備	30
4	調査研究	30
5	平成26年度の資料活用	30

V 資料

1	条例・規則	34
2	平成26年度の主な事業と来館者	36

I 沿 革

年 月	内 容
昭和 55年 9月	戸辺県議が関宿町に城型「治水記念館」を建設することについて9月議会で質問。 〔回答〕 史実に基づいたものを建設する必要があるので調査を十分したい。
57年 3月	関宿町が「関宿城建設整備計画」を策定。
58年 8月	関宿町長・町議会議員・町教育長から城の復原・郷土資料館等について陳情書が提出される。 東葛市町広域行政連絡協議会から、関宿城復原に係る建設省用地の払い下げ及び関宿治水公園の設置について陳情が提出される。
60年 2月	館野県議が、文化施設としての関宿城の復原と郷土資料館について2月県議会で質問。 〔回答〕 可能な限り史実に基づいた事業を進めたいので、その方向で調査をしたい。
4月	博物館の関連調査費として、当初予算に100万円を計上。(関宿城歴史資料調査60～61年度)
61年 4月	「ふるさと千葉5か年計画」の中に、県立博物館として盛り込まれる。
11月	(財) 県文化財センター委託の旧関宿城跡(本丸跡)の調査開始(3か年計画)
63年 7月	・第1回設置準備委員会 委員会発足
9月	・第2回設置準備委員会
12月	・第1回展示設計競技審査会で参加業者5者決定
平成 元年 1月	・第2回展示設計競技審査会(コンペ)で投票の結果、(株)日展が入選
2月	・第3回設置準備委員会
3月	・(株)日展から「展示基本計画書」等が提出される。
5月	・第1回設置準備委員会
7月	・総務部文書課、教育庁文化課・庶務課が、自治省と県境問題について協議
8月	・自治省から回答、地方自治法第244条の3号第3項に規定する「関係普通地方公共団体の決議」の必要はない。
12月	・建設省、土木部河川海岸課・用地課、教育庁文化課、関宿町でスーパー堤防施行等について協議(於自治会館)
平成 2年 4月	・進入道路入口に「県立博物館建設予定地入口」の看板設置
6月	・第1回歴史資料所在調査会発足 ・第1回設置準備委員会
7月	・スーパー堤防盛土開始(工期H2.6.5～H3.3.31) 2年度18千㎡ 3年度190千㎡を盛土 ・第1回円説設計者選定委員会(於青雲閣) 業務要領の制定、技術提案(プロポーザル)参加業者5者を選定
8月	・スーパー堤防に係る協定書の4者協議 (土木部用地課・河川海岸課・教育庁文化課、関宿町) ・第2回建築設計者選定委員会(於県職員開館) 建築設計者、(株)アルコムを選出
平成 3年 4月	・「さわやかハートちば5か年計画」スタート
7月	・地質調査を(株)中央開発、測量を富士技術サービス(株)と契約
8月	・第1回設置準備委員会

平成 3年 1 1月	・ (株) アルコムと建築基本設計を契約
平成 4年 3月	・ スーパー堤防協定書が締結される。 (建設省、千葉県、県教育委員会、関宿町の4者) 建築基本設計策定
6月	・ 建築工事等指名業者選定審査会(教育部会) 建築実施設計委託業者(株)アルコムの承認 ・ 第1回関宿藩資料調査会議(於県職員開館) ・ 上水道協議 関宿町水道事務所
8月	・ (株)アルコムから実施設計辞退届が提出される。
9月	・ 建設工事等指名業者選定審査会教育部会で、入札参加業者8者を承認 ・ (株)構造計画研究所と建築実施設計の契約を締結
1 1月	・ 第1回設置準備委員会
平成 5年 1月	・ 建築工事等指名業者選定審査会教育部会で、地盤改良工事入札参加業者12者を選定 ・ 地盤改良工事監理委託に都市公社を承認
2月	・ 地盤改良工事を若築建設(株)と契約
3月	・ 第2回設置準備委員会 ・ 建築実施設計完了(パース図、模型等納品) ・ 県警察本部警務課と茨城県地積をまたぐ件について協議 ・ 地盤改良工事の住民説明、建設相協議(於関宿町)
4月	・ 建設工事等指名業者選定審査会教育部会で、(株)日展と展示実施計画の随意契約が了承される。 ・ (株)日展と展示実施計画委託契約
6月	・ 第1回設置準備委員会 ・ 柏土地改良事務所と排水関係について協議
8月	・ 地盤改良工事竣工
9月	・ 杭打工事を東洋パイルヒューム管製作所と契約 ・ 建築工事を(株)大林組と契約
1 0月	・ 文教常任委員会で建設工事議案を可決 ・ 9月議会本会議で建設工事議案を承認可決(本契約は9月6日に遡って) ・ 建設工事着工 ・ 電気設備・機械設備工事を明電設備(株)、富士電気総設(株)と契約
1 1月	・ 建設省から占用許可おりる(H5.11.25~H9.9.30)。河川区域4,894.45㎡
平成 6年 2月	・ 第2回設置準備委員会
3月	・ 展示実施設計策定
5月	・ 定例教育委員会議で博物館の敷地が承認される。 ・ 建設工事等指名業者選定審査会教育部会で展示工事を(株)日展と随意契約することを承認
6月	・ 展示工事を(株)日展と契約
7月	・ 建築外構工事を大林組(株)と随意契約
8月	・ 土木外構工事を野口興業(株)と契約
1 0月	・ 造園工事を石川造園土木(株)を契約
平成 6年 1 1月	・ 第1回設置準備委員会

平成 7年 2月	・植栽その1・2・3工事を(株)東松園、(株)幹樹園、新都市緑化(株)と契約 ・建設・電気設備・機械設備工事竣工
3月	・第2回設置準備委員会 ・建物引渡し、博物館準備室を関宿城内に異動 ・土木外構(庭園造成、駐車場)・植栽その3工事竣工
4月	・建築外構工事竣工
7月	・朝日バス、関宿城博物館までの定期路線開通(14日)
8月	・植栽その1・2工事竣工
9月	・展示工事竣工
11月	・「千葉県立関宿城博物館」機関設置(1日) ・内覧会 55人参加(3日) ・ライトアップ工事完了(7日) ・開館記念式典(10日) ・一般公開(11日)

開 館 以 降

平成 7年 12月	12月9日 入館者累計が5万人を超える。
平成 8年 2月	2月12日 入館者累計が10万人を超える。
8月	特 別 展「利根川ハイウェー～利根川水運の盛衰を探る～」 7月27日から9月1日まで 入館者数：22,192人 特別講演会「海や川について考える」 8月8日 講師：椎名誠 入場者数：970人 会場：野田市文化会館
10月	合同企画展「東京湾・海苔の文化誌～ノリを喰らう～」 10月19日から11月17日まで 入館者数：17,972人
平成 9年 1月	企 画 展「描かれた世喜宿城～城絵図の世界～」 1月11日から2月23日まで 入館者数：20,898人
4月	休憩施設設計予算化
8月	特 別 展「忘れまい大洪水～カスリーン台風回顧展～」 8月12日から9月23日まで 入館者数：20,368人 特別講演会「台風がやってくる」 8月31日 講師：森田正光 入場者数：623人 会場：松戸市市民会館
9月	合同企画展「水をもとめて」 9月30日から11月17日まで 入館者数：27,171人
12月	休憩施設基本実施設計委託契約を(株)構造計画研究所と締結
平成10年 1月	企 画 展「かねは天下のまわりもの～江戸時代の貨幣制度を探る～」 1月15日から3月1日まで 入館者数：11,772人
3月	休憩所基本実施設計完成
4月	4月19日 入館者累計が50万人を超える。
8月	企 画 展①「利根川水運と諸大名」 8月4日から9月27日まで 入館者数：21,437人

平成10年 9月	特別講演会「利根川図志紀行～日本一の大河坂東太郎の歴史と文化を探る～」 9月13日 講師：山本鉦太郎 入場者数：503人 会場：流山市文化会館
10月	合同企画展「利根川紀行」 10月6日から11月15日まで 入館者数：28,832人 休憩所増設工事着工（29日）
平成11年 1月	企画展②「大地からの叫び～関宿周辺の原始・古代を探る～」 1月26日から2月28日まで 入館者数：10,566人
5月	休憩所増設工事（6日）
8月	企画展「絵馬に託す～利根川中流域の絵馬から～」 8月10日から9月15日まで 入館者数：12,125人
平成12年 2月	合同企画展「常総を旅する人々」 2月22日から3月26日まで 入館者数：9,542人
3月	休憩所外構工事竣工（24日）
8月	企画展「利根川改修100年」 8月12日から10月1日まで 入館者数：17,260人
9月	特別講演会「日本人と川」 9月15日 講師：井沢元彦 入場者数：323人 会場：さわやかちば県民プラザ
10月	第3回最新出土考古資料巡回展「地中からのメッセージ」 10月7日から11月5日まで 入館者数：27,743人
11月	開館5周年記念展「再発見！関宿の歴史」 11月10日から1月28日まで 入館者数：16,517人
平成13年 3月	千葉県用地1,281.38㎡所管換により取得（19日） 総敷地面積11,134.81㎡となる サイクリングロード、簡易トイレ周辺整備工事竣工 （東葛飾土木事務所発注工事）
7月	巡回展県内遺跡報告展「房総発掘物語」 7月10日から8月19日まで 入館者数：12,615人
9月	企画展「戦国の争乱と関宿」 9月1日から9月30日まで 入館者数：11,116人
平成14年 1月	1月26日 入館者累計100万人を超える。 特別講演会「森と川を語る」 1月27日 講師：C. W. ニコル 入場者数：453人 会場：さわやかちば県民プラザ
3月	浚渫船（山王号）と水路浚渫機設置 （国土交通省発注工事）
8月	企画展「江戸川流域360年～水運・帝都防衛・ベッドタウン～」 8月1日から9月29日まで 入館者数：18,200人 特別講演会「北海道で考える」 8月25日 講師：倉本聡 入場者数：900人 会場：野田市文化会館
平成15年 1月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 1月5日から2月2日まで 入館者数：9,098人
7月	合同企画展「英雄・怨霊 平将門～史実と伝説の系譜～」 7月15日から8月17日まで 入館者数：16,235人

平成15年 9月	野田市・関宿町合併記念「日本刀展」 9月30日から11月3日まで 入館者数：48,034人
11月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 11月8日から12月7日まで 入館者数：8,833人
平成16年 1月	野田市・関宿町合併記念「後藤純男展」 1月4日から1月18日まで 入館者数：12,605人
3月	特別講演会「川を学ぼう」 3月13日 講師：立松和平 入場者数：318人 会場：野田市文化会館
8月	企画展「幕末の眼科医 高野敬仲」 8月10日から9月12日まで 入館者数：13,299人
11月	県立美術館・博物館合同企画展「竹～ながーいともだち～」 11月30日から12月25日まで 入館者数：8,624人
平成17年 3月	特別講演会「川と海を考える」 3月13日 講師：マイク真木 入場者数：27人 会場：松戸市民会館
5月	5月22日 入館者累計が150万人を超える。
8月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 8月4日から8月31日まで 入館者数：10,482人
10月	企画展「高瀬船物語」 10月1日から12月4日まで 入館者数：32,488人
平成18年10月	企画展「利根川東遷と関宿藩」 10月3日から11月19日まで 入館者数：33,297人
11月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 11月25日から12月24日まで 入館者数：7,297人
平成19年 7月	合同企画展「街並み」 7月3日から7月29日まで 入館者数：9,055人
9月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 9月6日から9月30日まで 入館者数：7,531人
10月	企画展「天狗への祈り～大杉神社と利根川水運～」 10月18日から12月2日まで 入館者数：33,075人
平成20年 1月	巡回展「武の鉄一鉄に秘められた武の遺伝子ー」 1月10日から2月11日まで 入館者数：7,199人
9月	千葉県の指定文化財展「房総の仏像・仏画」 9月20日から10月19日まで 入館者数：19,042人 会場：県立中央博物館 講演会「房総の日蓮ーその文化遺産をめぐってー」 9月27日 講師：立正大学名誉教授・中尾堯 入場者数：140人 会場：県立中央博物館
10月	企画展「自然災害をのり越えてー利根川中流域の土木遺産から見える歴史ー」 10月21日から11月30日まで 入館者数：25,747人
12月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたりーおゆみ野編ー」 12月4日から1月4日まで 入館者数：6,764人
平成21年 1月	1月10日 入館者累計が200万人を超える。
2月	2月2日 皇太子殿下が行啓なされる。
10月	企画展「舟から船へー原始から近世までの日本船の変遷を探るー」 10月6日から11月29日まで 入館者数：29,512人

	公 演「関宿城薪能—ふれあい薪能—」 10月12日 入場者数：800人
12月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり—地下50cm文字の世界—」 12月5日から1月3日まで 入館者数：4,505人
平成22年 1月	公 演「燃え尽きるまで—幕末の治水家・船橋随庵—」 1月9日と1月10日 入場者数：850人 会場：野田市櫛のホール
4月	「火縄銃」展 4月27日から5月30日まで 入館者数：18,247人
10月	企 画 展「利根運河通水120年記念合同企画事業—利根川舟運と利根運河—」 10月5日から11月28日まで 入館者数：29,266人 利根運河通水120年記念合同企画事業記念講演会 「オランダ人お雇い技術者と利根運河」 10月16日 講師：高崎哲郎 入場者数：145人 会場：野田市興風会館
平成23年 2月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり—北から 西から 海路から—」 12月11日から1月16日まで 入館者数：9,599人
3月	菜の花フェスタ in 関宿城博 展 示 会「さかなクン教えて！川の魚、海の魚」 3月12日から5月8日まで 入館者数：19,971人 3月11日の東日本大震災により、臨時休館や開閉時間の調整を行う。平常開館は3月26日以降。
8月	出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり—古墳に眠る石枕—」 8月20日から9月19日まで 入館者数：9,720人
10月	企 画 展「猿島茶と水運—江戸後期から明治期を中心に—」 10月4日から11月27日まで 入館者数：26,591人
平成24年10月	企 画 展「醤油を運んだ川の道—利根川・江戸川舟運盛衰—」 10月2日から11月25日まで 入館者数：19,253人
11月	出土遺物巡回展「時空を超えて—市原市ちはら台の発掘ものがたり—」 11月29日から1月6日まで 入館者数：7,201人
平成25年 4月	4月20日 入館者累計が250万人を超える。
8月	第37回千葉県移動美術館「千葉県立美術館名品展」 8月3日から8月18日まで 入場者数：1,976人
10月	企 画 展「川が結ぶ—東北地方と江戸を結んだ利根川水運」 10月8日から12月1日まで 入館者数：13,298人
11月	太鼓橋高欄改修工事着工（6日）
平成26年 3月	太鼓橋高欄改修工事竣工（17日）
10月	地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山 —海運へのターニングポイント—」 10月7日から11月30日まで 入館者数：13,940人

Ⅱ 施設・用地

1 施設の概要

エレベータ用

(1) 施設概要

建物名称 千葉県立関宿城博物館
所在地 千葉県野田市関宿三軒家 143-4
地域地区 高規格堤防(スーパー堤防上)
用途 博物館
敷地面積 11,134.81 m²
建築面積 1,932.20 m²
延床面積 2,172.31 m²(休憩所・屋外便所含)
建物高さ 最高高さ 23m
建築規模 平屋建て一部天守閣造り(3層4階
江戸城富士見櫓風)
構造 SRC 鉄筋コンクリート造4階建
屋根 天守閣4階、本館(入母屋屋根)
天守閣2・3階(4方吹降屋根)
外装 大壁造形式(モルタル下地油漆喰塗り)
展示室 平屋 [床] カーペットタイル
[壁] ビニールクロス貼
[天井] 岩綿化粧吸音板
天守閣 [床] 直張フローリング
[壁] 断熱パネル下地プラスター
塗り
[天井] 調湿性岩綿吸音板格(ゴ
ウ)天井
建物名称 千葉県立関宿城博物館休憩所
所在地 千葉県野田市関宿三軒家 143-1
用途 博物館の休憩施設
建築面積 171.65 m²
延床面積 135.21 m²
構造 木造 平家建て

2 設備の概要

(1) 電気設備

① 受変電設備

受変電 6KV 変圧器 100KVA×1台
150KVA×1台

設備容量 165KW

② その他の設備

中央監視装置、放送設備 一般・非常放送用兼
用
出力 120W、インターホン/夜間受付用

TV 共聴設備 VHS・UHS・BS

電話設備 ボタン電話式

局線 3/24 回線 内線 21/40 回線

避雷設備 受雷部一棟上げ導体避雷導線一建築
構造体利用 接地極一接地極 埋設

監視制御 CCD カメラ 18 台

(2) 空気調和設備

① 冷暖房設備 冷温水発生装置 2 基

② 換気設備 全熱交換機、排気ファン、天井扇

(3) 給排水衛生設備

① 水源

野田市水道、給水設備 加圧給水ポンプによる
圧力方式

② 受水槽容量

24 m³、給湯設備 貯湯式電気温水器 150ℓ

③ 排水設備

雑排水・汚水排水 浄化槽合併処理後野田市
排水本管に放流、浄化槽 160 人槽 接触ばっき
方式

④ 消火設備

屋内消火設備 屋内消火栓 3ヶ所 消火栓ポン
プ 消火水槽 6 t 防火水槽 80 t 消火器 A
B C 10 型 18 本、特殊消火設備 ハロゲン化
合物消火設備 68ℓ × 12 本(720kg)
避難用救助袋 斜降式 袋長 30.5m 天守閣
3階 1ヶ所

(4) 昇降設備

油圧式乗用兼車椅子エレベーター
750kg 11 人乗り 速度 45m/分

(5) 収蔵庫関係

① 収蔵庫・特別収蔵庫

[床] ブナフローリング

[壁] 調湿性石綿化粧吸音板

[天井] 調湿性石綿化粧吸音板

② 燻蒸設備

庫内容量 10 m³ 常圧式ガス吸着槽

3 工事関係者

(1) 設計関係

地形測量

(株) 富士技術サービス

地質調査 中央開発 (株)
 本体・周辺設備実施設計 (株) 構造計画研究所
 展示基本・実施設計 (株) 日展
 土木工事関係 (財) 千葉県都市公社

(2) 施工

地盤改良工事 若築建設 (株)
 基礎杭打工事 (株) 東洋パイルヒューム管製作所
 建築工事 (株) 大林組 (H5. 10. 14~7. 2. 20)
 建築外構工事 (株) 大林組 (H6. 7. 14~7. 4. 20)
 機械設備工事 富士電気総設 (株)
 (H5. 10. 29~7. 2. 20)
 電気設備工事 明電設備 (株)
 (H5. 10. 29~7. 2. 20)
 展示工事 (株) 日展 (H6. 6. 1~7. 9. 30)
 土木外構 (株) 野口工業 (H6. 8. 12~7. 3. 25)
 造園工事 (株) 石川造園土木
 (H6. 10. 12~7. 3. 25)
 植栽その1 (株) 東松園 (H7. 2. 3~7. 8. 20)
 その2 (株) 幹樹園 (H7. 2. 3~7. 8. 20)
 その3 新都市緑化 (株) (H7. 2. 3~7. 3. 25)
 休憩所増築工事 野田建設 (株)
 (H10. 10. 29~H11. 5. 11)
 休憩所外構工事 野田建設 (株)
 (H12. 1. 19~12. 3. 24)

4 監理

建築工事 県土木部営繕課
 (株) 構造計画研究所
 展示工事 (財) 日本博物館協会
 土木工事関係 (財) 千葉県都市公社

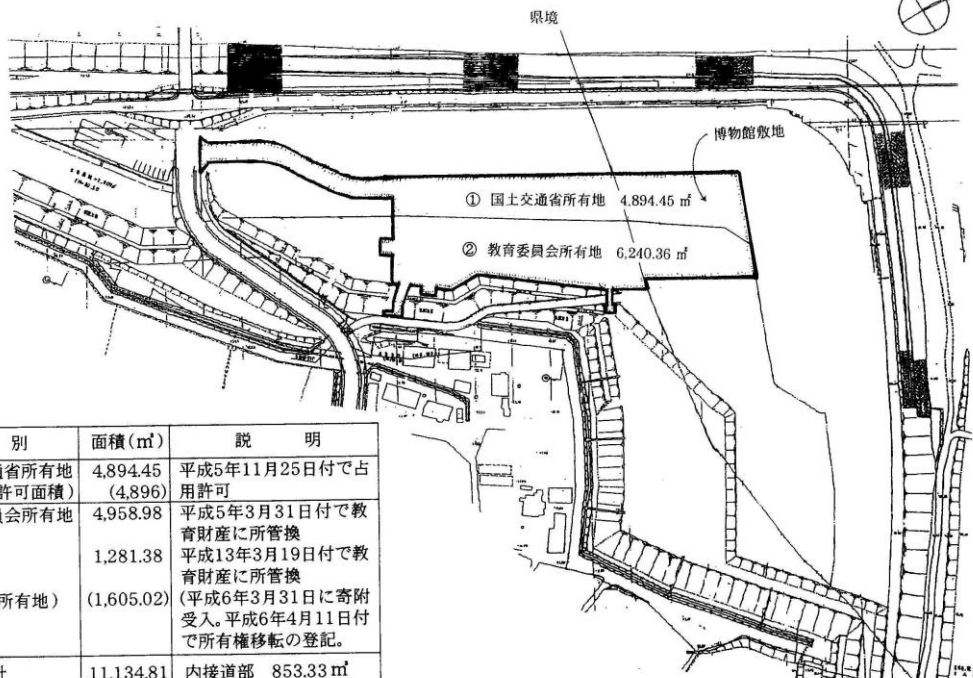
5 視聴覚機器

AV機器 マイク1本、ワイヤレスマイク2本、
 アンプ1台、チューナー1台、
 カセットデッキ1台
 拡声器1台、ビデオチェンジャー1台、スライド
 1台、OHP1台、コピー黒板1台、ビデオカメラ
 (8ミリ、SONY CCD-TR2)1台、ビデオ
 デッキ(8ミリ)1台、ビデオデッキ(VHS)1台、
 ポータブルアンプ1台、35ミリカメラ2台(N I
 K O N F 3・F-601)、67判カメラ1台(M
 A M I Y A R Z 67)、ポラロイドカメラ1台(J
 O Y C A M)、スタジオ撮影機材一式(電源2、スト
 ロボ大・中・小、撮影台、スクリーン)

6 その他備品

集会室用テーブル13台、椅子110脚、
 多目的室用テーブル9台、椅子30脚、
 司会台、演台、花台

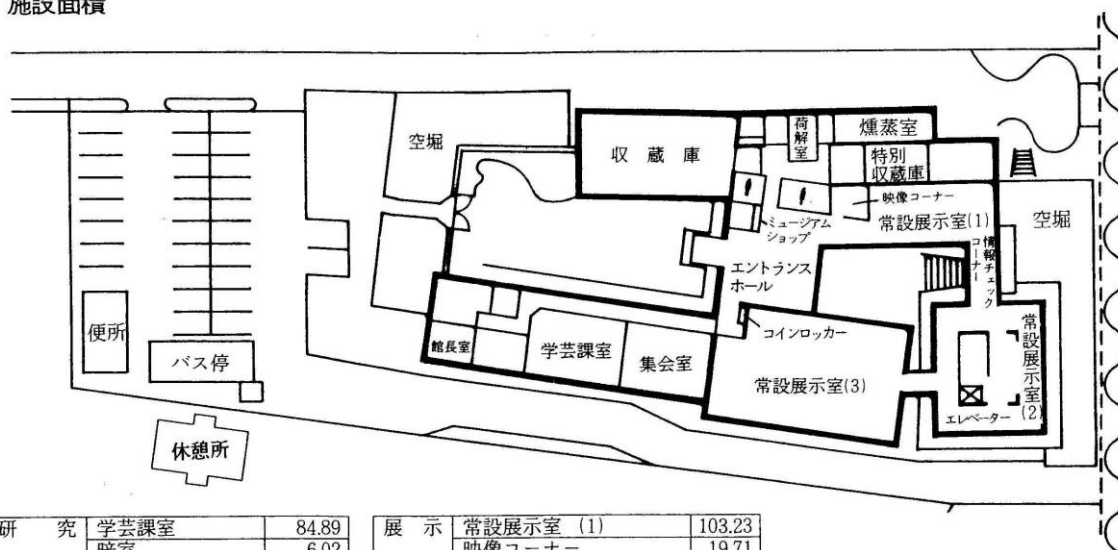
7 博物館敷地



種別	面積(m ²)	説明
①国土交通省所有地 (許可面積)	4,894.45 (4,896)	平成5年11月25日付で占有許可
②教育委員会所有地	4,958.98	平成5年3月31日付で教育財産に所管換
(元関宿町所有地)	1,281.38	平成13年3月19日付で教育財産に所管換
	(1,605.02)	(平成6年3月31日に寄附受入。平成6年4月11日付で所有権移転の登記。)
計	11,134.81	内接道部 853.33 m ²

※国土交通省所有地 千葉・茨城 端数切り上げ(H9.10.1 更新時より変更)

8 施設面積



研究	学芸課室	84.89
	暗室	6.02
	小計	90.91
教育普及	集会室	86.62
	集会室倉庫	2.69
	多目的室	68.15
	展望室	39.05
	小計	196.51
サービス	エントランスホール	146.21
	自販機・ロッカー	16.67
	トイレ	36.02
	屋外便所	23.28
	小計	222.18
管理事務	館長室	25.5
	庶務課室	33.5
	事務倉庫	10.9
	職員用便所	11.76
	小計	81.66

展示	常設展示室(1)	103.23	
	映像コーナー	19.71	
	常設展示室(2)	99.69	
	情報チェックコーナー	31.02	
	常設展示室(3)	314.59	
	ギャラリー	25.76	
	企画展示室	120.00	
	小計	714.00	
	設備他	作業員・警備室(便所含)	25.6
		シャワー室・脱衣室	2.98
空調機械室		18.43	
電気室		26.67	
炭酸ガスボンベ室		13.85	
エレベーター関係		28.79	
ポンプ室		5.83	
フロア室		7.27	
休憩室		12.28	
その他共用部分		172.43	
小計	314.13		

収蔵	収蔵庫(前室含)	201.52
	特別収蔵庫(前室含)	55.59
	燻蒸室	27.74
	荷解室	54.01
	展示倉庫	67.59
	倉庫	11.26
	小計	417.71
休憩所	休憩所	135.21
	小計	135.21
合計		2,172.31

(㎡)

9 日本庭園内樹木等

常緑樹

樹種	本数
アカマツ	16
アラカシ	32
イスノキ	15
イチイ	3
イヌマキ	3
ウバメガシ	33
オトメツバキ	54
カキノキ	2
カクレミノ	25
キンモクセイ	6
クスノキA	5
クスノキB	6
クロマツ	5
クロマツA	2
クロマツB	3
サンゴジュ	151
シラカシA	20
シラカシB	24
スダジイA	10
スダジイB	15
ネズミモチ	54
ヒイラギ	14
ヒイラギモクセイ	42
モチノキ	6
モッコク	3

落葉樹

樹種	本数
イヌシデ	8
イロハモミジA	14
イロハモミジB	12
ウメ(アカ)	2
ウメ(シロ)	3
エゴノキ	9
エノキ	6
オオシマザクラ	3
カツラ	11
クヌギ	4
ケヤキA	17
ケヤキB	9
コナラ	5
コブシ	10
サトザクラ	6
サルスベリ	4
シダレザクラ	3
シモクレン	4
ソメイヨシノ	12
ナツツバキ	2
ノムラモミジ	17
ハクモクレン	7
ハナカイドウ	34
ハナズオウ	9
モウソウチク	51
ヤマザクラ	19

低木

樹種	本数
アオキ	10
アジサイ	5
アセビ	115
ウバメガシ	140
オオムラサキツツジ	145
カンツバキ	50
クリシマツツジ	270
キンシバイ	8
コキヤナギ	41
コクチナシ	55
サツキツツジ	570
シャリンバイ	175
ジンチョウゲ	120
タニウツギ	33
ドウダンツツジ	390
ニシキギ	80
ハイビャクシン	480
ハギ	83
ヒイラギナンテン	98
ヒサカキ	10
ビョウヤナギ	15
ヤマツツジ	85
ヤマブキ	75
レンギョウ	115

地被

樹種	本数
アケビ	24
エビネ	105
キキジョウソウ	245
ギボウシ	120
クサソテツ	50
クマザサ	1150
コウライシバ	115㎡
コグマザサ	3000
シャガ	1600
セキショウ	50
タマリユウ	4170
ツキヌキニンドウ	12
ツワブキ	10
トワサ	30
ナギイカダ	30
ノシバ	78㎡
フジ	6
ミヤギノハギ	115
ユキノシタ	90

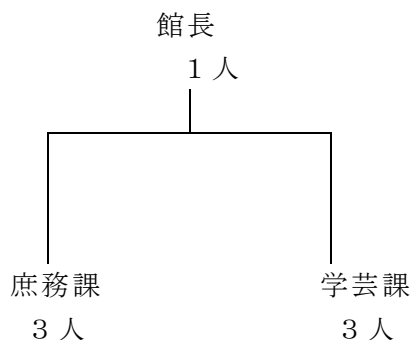
10 道路案内板設置場所



Ⅲ 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織 (平成 26 年 4 月 1 日現在)



(2) 職員

職名	氏名
館長	太田文雄
庶務課長	岩本明人
主査	山口進吾
主査	平野剛
学芸課長	横山仁
主任上席研究員	尾崎晃
主任上席研究員	鈴木敬子
嘱託	吉田琴絵

(3) 展示協力員

千葉県立関宿城博物館の展示及び普及事業に関して専門的な研究を行うため、展示協力員(平成 19 年度から客員研究員を改める)を置く。任期は 2 年とする。平成 26 年度から平成 27 年度は、以下の 7 名の展示協力員を委嘱した。

千葉県立関宿城博物館展示協力員名簿

(任期 H26.4.1~H28.3.31)

氏名	役職名	備考
新井浩文	埼玉県立文書館 主任学芸員	地域史
石田年子	野田市文化財保護 審議会委員	民俗
市川幸男	財団法人全国建設 研修センター 調査役(研修第一 課長兼務)	河川土木
岩槻秀明	野田市自然保護連 合会理事	自然科学
中村正己	元境町教育委員会 町史編さん室参事	地域史
松井哲洋		和船研究
松丸明弘	千葉県立東葛飾高 等学校教諭	河川交通史

2 入館者の統計

(1) 平成 26 年度入館者数及び累計

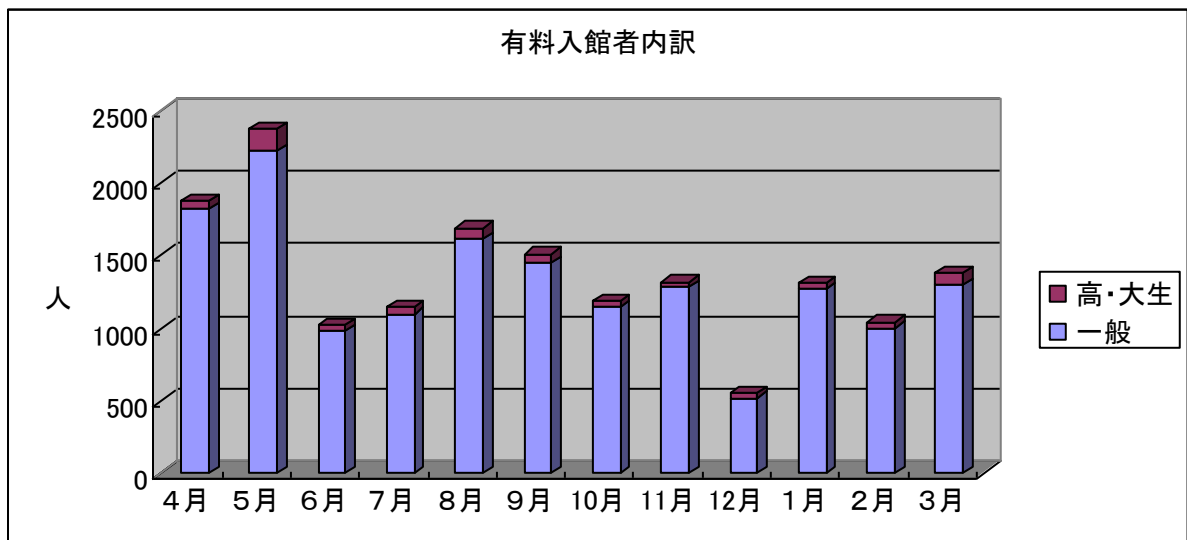
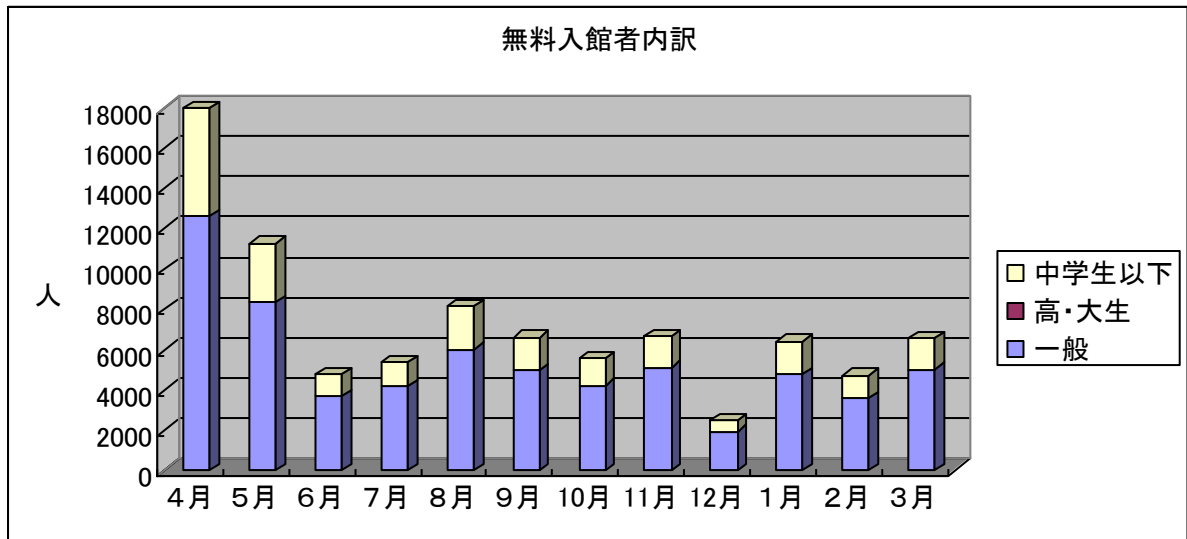
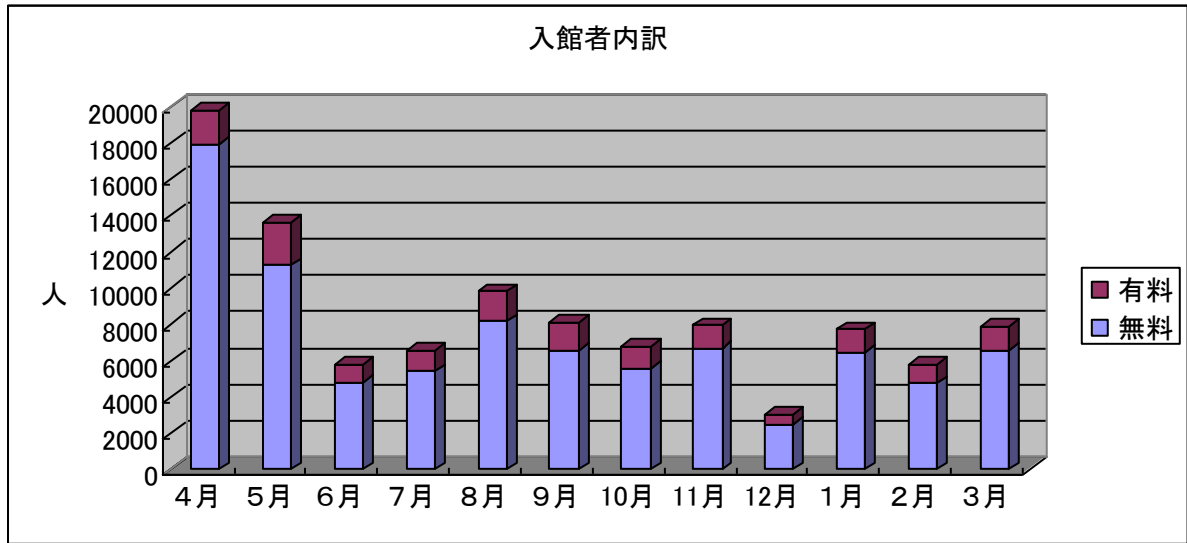
	開館日数	入館者数	入館者数累計
4月	26日	19,828人	2,600,612人
5月	27日	13,662人	2,614,274人
6月	25日	5,795人	2,620,069人
7月	27日	6,553人	2,626,622人
8月	27日	9,850人	2,636,472人
9月	25日	8,119人	2,644,591人
10月	30日	6,778人	2,651,369人
11月	30日	7,963人	2,659,332人
12月	21日	3,037人	2,662,369人
1月	27日	7,745人	2,670,114人
2月	24日	5,796人	2,675,910人
3月	26日	7,930人	2,683,840人
合計	315日	103,056人	

(2) 平成26年度利用状況

(単位：人)

	開館 日数	入場者数	個人							
			個人計	有料			無料			
				有料計	一般	高・大生	無料計	一般	高・大生	中学生以下
4月	26	19,828	19,450	1,852	1,796	56	17,598	12,380	0	5,218
5月	27	13,662	12,750	2,238	2,171	67	10,512	8,007	0	2,505
6月	25	5,795	5,534	962	942	20	4,572	3,526	0	1,046
7月	27	6,553	6,265	1,094	1,046	48	5,171	3,975	0	1,196
8月	27	9,850	9,740	1,645	1,570	75	8,095	6,004	0	2,091
9月	25	8,119	7,652	1,420	1,372	48	6,232	4,634	0	1,598
10月	30	6,778	6,170	1,088	1,049	39	5,082	4,027	0	1,055
11月	30	7,963	7,602	1,296	1,260	36	6,306	4,808	0	1,498
12月	21	3,037	2,904	516	499	17	2,388	1,861	0	527
1月	27	7,745	7,656	1,313	1,272	41	6,343	4,762	0	1,581
2月	24	5,796	5,327	946	904	42	4,381	3,375	0	1,006
3月	26	7,930	7,580	1,329	1,277	52	6,251	4,721	0	1,530
計	315	103,056	98,630	15,699	15,158	541	82,931	62,080	0	20,851

団体数		団体							
		団体計	有料			無料			
			有料計	一般	高・大生	無料計	一般	高・大生	中学生以下
4月	7	378	29	29	0	349	219	0	130
5月	18	912	137	50	87	775	346	0	429
6月	10	261	59	37	22	202	169	19	14
7月	7	288	50	50	0	238	238	0	0
8月	4	110	46	46	0	64	21	0	43
9月	14	467	93	76	17	374	352	0	22
10月	13	608	98	98	0	510	207	0	303
11月	13	361	23	23	0	338	336	0	2
12月	5	133	39	20	19	94	94	0	0
1月	1	89	0	0	0	89	4	0	85
2月	13	469	97	97	0	372	234	0	138
3月	12	350	52	19	33	298	298	0	0
計	117	4,426	723	545	178	3,703	2,518	19	1,166



(3) 展覧会別入館状況

事業名	実施日	入館者数(人)		
		有料	無料	合計
地井紅雲版画展―白と黒の世界 part 2―	2月15日～ 5月6日 (4月1日～)	4,585 (3,087)	30,845 (23,882)	35,430 (26,969)
コーナー展「浮世絵に描かれた富士山」	4月22日～ 6月1日	3,092	14,685	17,777
2014国際博物館の日記念事業 昔の暮らし展	5月8日～ 6月29日	2,190	10,126	12,316
パネル展「写真で見る日本の城」	7月1日～ 10月2日	4,388	20,341	24,729
関宿城写生コンクール作品展	9月9日～ 9月23日	964	4,070	5,034
地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿・野田・ 流山―海運へのターニングポイント―」	10月7日～ 11月30日	2,094	11,846	13,940
パネル展「戦国武将・築田氏の世界」	12月4日～ 1月9日	1,001	4,689	5,690
凧の競演	1月1日～ 1月25日	1,179	5,838	7,017
第15回関宿城百景写真展	1月12日～ 2月12日	1,046	5,021	6,067
出前展示 パネル展「戦国期から江戸期の関宿」	2月7日～ 3月1日		27,349	27,349
地井紅雲版画展―白と黒の世界 part 3―	2月14日～ 2月22日	1,469	6,651	8,120

(4) 入館者の状況

平成26年度の入館者数は103,056人で、前年度と比較すると4,680人増加している。特に2月は大きく増加している。その要因として、今年度は大雪に見舞われず、好天が続いたことによるものと思われる。

3 ミュージアムショップの状況

来館者サービスの一環として、ミュージアムショップにおいて博物館関係書籍、地元の物産などを販売した。この他、飲料水用自動販売機、望遠鏡を設置し、多くの来館者に利用されている。

IV 平成26年度の事業概要

1 展示活動

[1] 常設展「河川とそれにかかわる産業」

(1) 房総の河川～近現代の利根川・江戸川～
利根川・江戸川は、近世以降江戸へ通じる水運の大動脈として利用されたが、その一方でたびたび氾濫を引き起こして各地に大きな被害をもたらした。

これらの河川は、明治後期から大正にかけて改修工事が行われており、常設展では、災害の様子・水とのたたかい・改修工事の様子を紹介している。

<主な展示項目>

- ・水塚の役割
- ・水防工法と組織
- ・利根川・江戸川の洪水と治水の歴史
- ・利根川の改修工事
- ・関宿水閘門

(2) 房総の河川～近世の利根川・江戸川～

江戸時代初頭に行われた利根川の東遷に端を発した利根川流域における大がかりな河川改修事業や、手賀沼・印旛沼の干拓事業などの様子を絵図や模型で紹介している。

<主な展示項目>

- ・徳川幕府と利根川の東遷
- ・関東流と紀州流
- ・関宿棒出し
- ・手賀沼・印旛沼の干拓

(3) 河川交通と伝統産業

利根川水運の主役として活躍した、高瀬船の大型模型を展示室の中央に配し、両側に河岸問屋と醤油蔵を再現し、それぞれ河岸問屋、流域の伝統産業に関わる展示を行っている。

<主な展示項目>

- ・利根川水運の変遷
- ・高瀬船と通運丸
- ・流域の伝統産業
- ・河川が育てた文化

[2] 常設展「関宿藩と関宿」

企画展開催以外の期間に展示を行っている。関宿藩の推移や藩主久世氏関係の資料を展示し

ている。

<主な展示項目>

- ・関宿城の歴史
- ・久世氏の活躍
- ・関宿藩士

なお、展示室1・展示室2・展示室3・企画展示室に一般向け解説シート（日本語版・英語版）を置いている。

[3] 地域連携巡回展

「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山
—海運へのターニングポイント—」

開催期間 10月7日（火）～
11月30日（日）

開催日数 55日

見学者数 13,940人

解説会 11月 3日（祝・月） 99人参加
11月23日（祝・日） 44人参加

「通運丸」とは明治10年から約半世紀にわたって利根川・江戸川流域を中心に航行した蒸気船の名称である。

本展示では通運丸がどんな船で、通運丸によって結ばれた関宿・野田・流山がいかにか発展を遂げたのかについて紹介するとともに、国内の輸送手段が船から鉄道・自動車へと移り変わり、船の役割が海運へとシフトチェンジしていった状況について解説した。

1 和船時代の水運

(1) 川で結ばれた町

江戸期は陸上交通と共に水上交通が整備され、河川の流域には物資の積み降ろしのために多くの河岸が作られた。そして、物資輸送は河岸同士の連携によるネットワークで支えられていた。

ここでは、水運によって繁栄した関宿・野田・流山の交通事情について紹介した。

<展示資料等>

利根川筋絵図（複製）、五海道其外分間延絵図
並見取絵図 関宿通多功道見取絵図（複製）

(2) 物資輸送の主役 船

江戸期の物資輸送の主役は船であった。当時

の船の動力は風頼みで、行きと帰りでは行程日数に大きな差が生じていた。また、河川の渇水期には喫水線の浅い小船に船荷を積み替えなければならず、自然条件に左右されることが多かった。

ここでは、主に水運で活躍していた高瀬船を取り上げ、航行の様子を紹介した。

<展示資料等>

富士三十六景 鴻之台と柵川、諸国勝景 下総利根川（複製）、『利根川図志』、船鑑（複製）、天明二年船持人別帳面（複製）、高瀬船模型、高瀬船の滑車

2 通運丸の就航

明治10年に、通運丸は江戸川・利根川・思川経由で就航した。経営に当たったのは内国通運会社である。明治政府はこれまでの助郷制度を改め、民間会社による新たな交通体系の確立を目指した。そうした状況のもと、河川交通において蒸気船が導入されたのである。

ここでは、通運丸の航行状況と寄航場における蒸気河岸の業務などを紹介した。

<展示資料等>

東京両国通運会社川蒸汽往復盛栄真景之図、東京三十六景 品川沖蒸気船、石川島平野造船所での通運丸建造風景模型（写真）、蒸気船・和船の案内引札、通運丸開業広告、利根川汽船航路案内、陸運会社開業につき印旛県回達、内国通運会社開業につき廻達、境町 内国通運会社境町分社取扱所等委託状、境町通運会社陸運賃額表、依頼電報

3 繁栄する関宿・野田・流山

（1）関宿の様子

水運の要衝として栄えていた関宿の河岸に、内国通運会社の寄航場が置かれ、通運丸の通航によって利便性が増していった。しかし、明治中期に上野－高崎間において鉄道が開通すると、次第に物資輸送が水運から鉄道に取って替わり、関宿は賑わいを失っていった。

ここでは、通運丸が通航していた当時の関宿を紹介した。

<展示資料等>

通運丸運賃割引広告、通運丸発船時刻改正表、千葉県地誌略（上）、通運丸乗客切手帳、団体乗客割引規定、通運丸乗客貨物取扱所看板、旅

人宿営業願

（2）野田の様子

野田は江戸期から醤油醸造業が発達し、水運を利用して江戸への醤油供給の拠点として栄えていた。さらに明治中期以降、醤油産業が野田の経済発展に大きく貢献していった。明治末期には千葉県営軽便鉄道が開通し、野田町駅を中心に水陸交通の要衝として賑わいを見せていた。

ここでは、醤油産業で発展した野田の様子を紹介した。

<展示資料等>

廻漕問屋開業広告、下総野田今上河岸通運所うちわ広告、通運丸乗船鑑札、木製印（通運丸・銚子一号・銚港丸三号）、野田町名所案内商売繁昌寿五六、日本名勝写生紀行第2巻、利根川勝地案内、第1号通運丸模型

（3）流山の様子

流山は江戸期から味噌醸造業が発達し、明治初期に東葛飾県の県庁が置かれるなど、政治・経済の中心地であった。そして、江戸川と利根川を結ぶ利根運河の開通により、通運丸の寄航場として多くの人々が来訪するようになった。さらに、複数の鉄道路線が開通し、水陸交通の要衝として賑わいを見せていた。

ここでは、政治・経済の中心地として賑わいを見せていた流山の様子を紹介した。

<展示資料等>

利根運河に行く蒸汽船（写真）、流山付近を航行する蒸汽船、大正時代の流山大通り（写真）、流山東京間船積荷物上下運賃表、工事中の利根運河（写真）、利根運河航通規則、小牧村諏訪神社大祭に付汽船の増発通知、外輪蒸気船「通運丸」模型、通運丸模型

4 船の輸送のうつりかわり

（1）通運丸の終焉－競合する交通手段と自然災害－

明治政府は、国内河川に蒸気船を通航させる一方で鉄道敷設にも力を入れた。明治後期になると、鉄道が通運丸の航路と並行して敷設されるようになった。また、バスやトラックが新たな輸送手段として登場し、道路網の整備が進んだ。そして、通運丸は料金と輸送時間の面で、汽車や自動車と競争を余儀なくされた。

関東大震災による川船の焼失、洪水による川底の上昇が原因で、通運丸は昭和10年以降定期的な航行に終わりを告げることとなった。

ここでは、通運丸と競合した他の交通機関の状況と通運丸を終焉へと導いた自然災害について紹介した。

<展示資料等>

東京名所上野山下ステーション開業式汽車発車之図、東京横浜名所一覧図絵 高輪蒸気車鉄道、東京名所日本橋之図、汽船並荷物及び馬車賃銭表、戦捷祈願参詣汽車汽船賃金大割引広告、ちらし（総武鉄道観光案内）、改正運賃時刻表（成田－佐原間）、乗合自動車時間表、利根川流域大洪水写真帖

（2）貿易の振興と海運政策

国内の河川交通は衰退したが、船の役割は貿易の拡大や軍事国防力の強化などによって、ますます重要になっていった。明治政府は海外との交流を積極的に進めるため、大型船舶の建造・安全な航路の開発・港湾の整備を行った。そして、昭和初期から第二次世界大戦にかけて、多くの貨客船が海外と往来するようになったのである。

ここでは、明治期から昭和初期に外海を航行していた大型貨客船などを紹介した。

<展示資料等>

ペリー提督・横浜上陸の図（写真）、蒸気火輪船の図〔瓦版〕（写真）、申正月亜国江別船ニ而罷越候、蒸気軍艦「威臨丸」模型、絹糸、全国物産図絵 茶を製す図、日本丸絵葉書、貨客船「天洋丸」模型、貨客船「浅間丸」模型、浅間丸のパンフレット、浅間丸の一等食堂で使われたメニューカード

（3）海のかなたに

第二次世界大戦によって、日本は多くの船を失い、また残った船も老朽化していった。しかし、連合軍総司令部の船舶規制が緩和されるようになると、日本は再び海運国としての歩みを再開した。そして、昭和31年には造船数が世界第1位となり、造船数と共に貿易額が伸び続けていった。

ここでは、現在の船舶が日本の産業発展に大きな原動力となっていることを紹介した。

<展示資料等>

貨客船「あるぜんちな丸」模型、オイルタンカー「日精丸」模型、自動車運搬船「追浜丸」模型、コンテナ船「春日丸」模型、大型船が接岸できる青海埠頭（写真）



〔4〕コーナー展「浮世絵に描かれた富士山」

開催期間 4月22日（火）～6月1日（日）

開催日数 36日

見学者数 17,777人

千葉県及び周辺地域から望む富士山の風景を描いた浮世絵13点を展示した。

「一つ一つ詳しく書いてあって良かった」「非常に見やすかった」と、展示の方法について評価が高かったようである。



[5] 2014年国際博物館の日記念事業

「昔の暮らし展」

開催期間 5月8日(水)～6月29日(日)

開催日数 46日

見学者数 12,316人

昭和初期から中期頃の暮らしに関する民俗資料を中心に、「住まう」「食べる」「着る」「働く」「遊ぶ」の五つのテーマに沿って展示し、今の子どもたちのおじいちゃんやおばあちゃんが暮らしていた頃の様子を再現した。また、体験コーナーを設けて、当時の暮らしぶりや遊びを追体験できるよう、土・日曜日の午後1時～3時に昔の遊びを実演するボランティアを配置した。さらに、「思い出ノート」を設置し、実際に体験した思い出を見学者に書いてもってボードに貼りだした。

「昔のことが偲ばれた」「昔の子供の頃を思い出しながら見学させてもらいました」という見学者の感想から、「思い出ノート」を設置して掲示したことが功を奏したようだ。



[6] パネル展「写真で見る日本の城」

開催期間 7月1日(火)～10月2日(木)

開催日数 81日

見学者数 24,729人

全国の現存または復原された城、28城を取り上げ、天守を中心に写真で紹介し、築城者や再建者の簡単な解説を加えた。また写真提供先のホームページとリンクを貼り、展示している城のPRも行った。

城の思い出を書いてもらう「お城の思い出コーナー」や自分の好きな城に投票してもらう

「お城ランキング」を併せて行い、人気を博した。これらは、入場者が展示に参加できたと感じられたことが良かったのだと思う。



[7] パネル展「戦国武将・築田氏の世界」

開催期間 12月4日(木)～1月9日(金)

開催日数 27日

見学者数 5,690人

築田氏が各武将から受け取った起請文や書状11点をパネルにし、解説文付きで展示した。また、関宿地区を中心に、築田氏にゆかりのある主な寺院や史跡の写真を掲示した。



[8] 凧の競演

開催期間 1月1日(祝・木)～1月25日(日)

開催日数 22日

見学者数 7,017人

正月の風物詩としてエントランスホールにおいて、大凧(江戸角凧)3点、コウノトリの鳥凧3点、バラモン凧1点、鬼ようちょう1点、まなぐ凧1点を展示した。



[9] 出前展示

パネル展「戦国期から江戸期の関宿」

開催期間 2月7日(土)～3月1日(日)

開催日数 20日

見学者数 27,349人

さわやかちば県民プラザにおいて、戦国期の築田氏、江戸期の久世氏が関宿で活躍した事象を中心にパネルで紹介した。



2 教育普及活動

[1] 講座

(1) 歴史講座

①通運丸で結ばれた関宿・野田・流山

期 日 10月19日(日)

受講者数 40人(定員50名)

講 師 物流博物館

学芸員 玉井幹司

地域連携巡回展に関連し、通運丸の経営に当たった内国通運会社の業務内容と、寄航場となった関宿・野田・流山の様子を解説した。



②古文書を読む

入門編(2回連続)

期 日 6月8日(日)

7月13日(日)

受講者数 40人(定員60名)

講 師 千葉県立関宿城博物館

主任上席研究員 尾崎晃



変体仮名を中心に「くずし字」を学習し、明治初期の高札をテキストにして、そこに書かれ

ている簡単な「くずし字」を読んだ。

初級編（2回連続）

期 日 8月10日（日）

9月 6日（土）

受講者数 58人（定員60名）

講 師 古文書研究会

顧問 中村正巳

古文書辞典の使い方を学習し、江戸後期から幕末の交通史に関わる「東海道先鋒御達向控簿」と「往来手形」をテキストにして、グループごとに相談しながら読んだ。



（2）博物館セミナー

第1回

期 日 8月31日（日）

受講者数 24人（定員30名）

演 題 江戸川・利根川舟運－河岸・川船・
河岸問屋－

講 師 展示協力員 松丸明弘

近世の江戸川・利根川舟運について、河岸の様子と共に解説した。



第2回

期 日 9月27日（土）

受講者数 24人（定員30名）

演 題 岩本石見守感恩塔と小金牧の寛政改革

講 師 展示協力員 石田年子

旗本・岩本石見守が寛政期に行った牧改革と、石見守を祀った感恩塔について解説した。



第3回

期 日 11月24日（振休・月）

受講者数 16人（定員30名）

演 題 利根川流域・中川流域にある選奨土木遺産について（土木の日に因んで）

講 師 展示協力員 市川幸男

選奨土木遺産の概要、中川流域にある権現堂用水等の土木遺産、利根川下流の横利根関門について解説した。



第4回

期 日 12月21日(日)
受講者数 11人(定員30名)
演 題 古代の工具・鉄器と船
講 師 展示協力員 松井哲洋

古代から近世の木造船とその工具について、船釘を中心に実物資料を見せながら解説した。



第5回
期 日 1月18日(日)
受講者数 4人(定員30名)
演 題 河川敷にクワガタは生息するか～川
辺に生きる昆虫たち～
講 師 展示協力員 岩槻秀明

関宿城博物館周辺を中心とした河川域に生息する昆虫の現状を紹介した。



第6回

期 日 2月15日(日)
受講者数 50人(定員30名)
演 題 栗橋城と関宿城
講 師 展示協力員 新井浩文

戦国時代における栗橋城の役割や、栗橋城と関宿城の関わりについて解説した。



第7回
期 日 3月15日(日)
受講者数 13人(定員30名)
演 題 武術家佚斎樗山の天狗芸術論と田舎
荘子猫の妙術について
講 師 展示協力員 中村正己

関宿藩士・丹羽十郎右衛門忠明(佚斎樗山)の家系と、代表的作の『天狗芸術論』と『田舎荘子』について紹介した。



(3) 野外講座

①歴史散歩—通運丸と物流の今と昔を訪ねて

—

期 日 10月26日(日)

参加者数 24人(定員25名)

担 当 主任上席研究員 尾崎 晃

地域連携巡回展に関連して、東京港の歴史や役割を紹介した東京みなと館と、近世から近代までの物流の歴史を紹介した物流博物館を見学した。両館では職員の方から丁寧な説明を受け、参加者は熱心に説明を聞いていた。

また、通運丸の発着所となった隅田川の両国橋付近を車中見学した。



(4) 郷土食講座

①そば打ち

前 期 (3回連続)

期 日 5月18日(日)

6月15日(日)

7月19日(土)

受講者数 41人(定員54名)

実技指導者 関宿そば打ち愛好会

そば打ちの工程を一通り体験し、全員が4～5人前のそばを完成させた。最初に、関宿そば打ち愛好会のメンバーによるそば打ちの実演を見学してから、参加者がそば打ちを体験した。3回目には、自分で打ったそばを茹でて試食した。実演見学後、参加者は直ぐ実習に入るため、イメージが残っており、そば打ちのコツの習得が早かった。回を重ねるごとに参加者の腕が上達していった。

後 期 (3回連続)

期 日 10月11日(土)

11月16日(日)

12月14日(日)

受講者数 18人(定員54名)

実技指導者 関宿そば打ち愛好会

複数の指導者がいるため隅々まで指導が行き届き、参加者は満足していた。3回連続の参加がネックになり、参加者が少なく残念であった。



②小麦まんじゅうづくり

期 日 6月21日(土)

6月22日(日)

1月24日(土)

1月25日(日)

受講者数 77人(定員120名)

実技指導者 川俣カツエ

川俣綾子

夫婦・親子・友人などのグループに分け、実

技指導者のもと、「小麦粉と重曹の調合」「生地づくり」「アン包み」「蒸す」「関宿城の焼印を押す」の手順で行った。また、生地をねかせておく30分間、関宿城下の模型を使って学芸員が参加者に関宿の歴史を講話した。



③投網漁と川魚料理

期 日 9月28日(日)
 受講者数 16人(定員20名)
 実技指導者 櫻井文男
 小久保喜太郎
 川俣カツエ

川での投網漁についての説明を受けた後、投網の投げ方を体験し、川魚のさばき方を見学した。また、さばいた川魚を天ぷらにして試食した。



④こんにゃくづくり

期 日 11月9日(日)
 受講者数 27人(定員30名)
 実技指導者 船橋正子

3人一組のグループで作業を行い、こんにゃくを作った。そして、全員で出来たてのこんにゃくを試食した。



⑤鷹菜漬け

期 日 2月28日(土)
 3月1日(日)
 3月7日(土)
 3月8日(日)
 受講者数 29人(定員40名)
 実技指導者 川俣カツエ
 川俣綾子

樽に鷹菜と塩を交互に入れ、上に乗って足踏みをして重しをかける作業を行った。また、鷹菜を使った調理例として炒り菜汁を作って試食し、鷹菜の味を知ってもらった。



[2] 体験教室—みんなでふれあい体験—

(1) 河川敷のいきものさがし

①草花あそび

期 日 5月6日(振休・火)

参加者数 2人(定員20名)

講 師 展示協力員 岩槻秀明

タンポポやヨシの茎を使って、講師から草笛の作り方を教わった。最初は音が鳴らない参加者が多かったが、何回かやっているうちにコツをつかめたようで鳴らすことができた。今回は、植物の観察だけでなく、昆虫の観察も行うことができた。

博物館周辺の利根川・江戸川河川敷を散策しながら、草笛に適したヨシやスズメノテッポウ、食用のノビルやヨモギなどを観察した。

②バッタさがし

期 日 10月13日(祝・月)

参加者数 一人(定員20名)

講 師 展示協力員 岩槻秀明

台風の影響で中止となった。

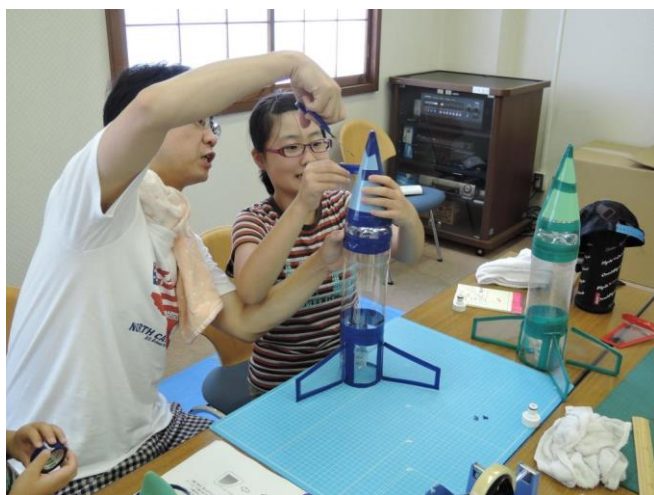
(2) 飛ばせ水ロケット

期 日 7月27日(日)

参加者数 9人(定員20名)

担 当 主任上席研究員 鈴木敬子

兄弟で参加する子どもが多く、親子で和気あいあいと水ロケットを作っていた。完成後、博物館脇の広場でそれを打ち上げた。今年度は水ロケット先端部のソケットを手製にしたので、子どもたちはそれを家に持ち帰って飾ろうと色塗りをがんばっていた。



(3) 関宿城下を歩こう(1日コース)

期 日 4月26日(土)

10月18日(土)

3月21日(祝・土)

参加者数 96人(定員90名)

担 当 学芸課長 横山 仁

午前10時に集合し、集会室で見学場所について簡単なガイダンスを行った後、関宿城下の散策をスタートした。関宿城本丸跡→筋違いの十字路→外堀・土塁跡→関宿関所石碑→随庵堀と随庵碑→昌福寺→実相寺→宗英寺→鈴木貫太郎記念館→光岳寺と延命子育て地蔵尊→水塚→首塚(刑場跡)の順に巡り、それぞれの場所で学芸員が説明を行いながら、関宿の歴史に触れた。

参加者は、「グループに分かれての説明があり、とても分かりやすかった」「初めての参加でしたので、とても楽しく良かったです」「丁寧な説明をしていただき、良く分かりました」などと、このイベントに満足していたようだった。



(4) 関宿城下を歩こう(半日コース)

期 日 5月24日(土)

11月29日(土)

参加者数 20人(定員60名)

担 当 学芸課長 横山 仁

午前10時に集合し、集会室で見学場所について簡単なガイダンスを行った後、中之島公園内の散策を中心にスタートした。三縣鶏鳴之碑→浚渫船→関宿水閘門→中之島公園→鬼門除け稲荷→の順に巡り、それぞれの場所で学芸員が説明を行いながら、利根川・江戸川改修に関連

した歴史遺産などを見学した。

「関宿水閘門の構造と役割などについて説明を受けて勉強になった」と、参加者には好評だった。



(5) 版画年賀状教室

期 日 12月6日(土)

参加者数 10人(定員10名)

実技指導者 日本版画院同人 地井紅雲

参加者が予め考案してきた年賀状の下絵や、講師が用意した下絵の見本から図案を決めた。そして、版木を彫刻刀で彫り、版木に絵の具を塗って刷り上げた。参加者は完成に近づくにつれ、木版画の良さや達成感を味わうことができた。



(6) 関宿城新春たこあげ

期 日 1月4日(日)

参加者数 94人(定員なし)

実技指導者 日本の凧の会

会員 中山典夫

中山恵子

春田親邦

凧揚げには少し風が弱かったが、日本の凧の会会員の方々が角凧等を揚げた。また、チーバくんの来場があり、多くの家族連れの方々と記念撮影を行った。さらに、来場した子どもたちにウォーキングカイトをプレゼントした。



(7) 大福帳型ミニテキストを作ろう

期 日 12月7日(日)

13日(日)

20日(土)

23日(祝・火)

1月4日(日)

参加者数 55人(定員随時4名)

担 当 主任上席研究員 鈴木敬子

くずし字や家紋等様々なテキストの中から好きな物を選び、大福帳の綴じ方でオリジナルのミニテキストを作った。家紋やくずし字は子どもだけでなく、大人も興味を持ち、参加した子どもと大人の比率が半々くらいだった。



[3] 写真展・スケッチ展・版画展

(1) 写真展

①第15回関宿城百景写真展

開催期間 1月12日(祝・月)～
2月12日(木)

開催日数 27日

見学者数 6,067人

今年度は21点の作品が集まった。出品者は野田市在住の方を中心に毎年出品される方がほとんどだったが、初めて出品した人が数名いた。受賞者は以下のとおりである。

<受賞者>(敬称略)

関宿城博物館長賞	関根 弘美
野田関宿商工会長賞	筑井 正
特別賞	山中 利文
	飯野 さよこ
	丸山 善人
	下津谷 征栄

(2) スケッチ展

①関宿城写生コンクール作品展

開催期間 9月9日(火)～
9月23日(祝・火)

開催日数 13日

見学者数 5,034人

関宿城周辺を題材とした写生画を近隣市町から公募し、入選作品を1階エントランスホールに、そのほかの作品を1階集会室に展示した。

展示方法は学年ごとに分け、さらに出来るだけ同じ学校でまとまるように展示した。

公募については、近隣の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・公民館・図書館・資料館・絵画サークルへ募集要項を配布し、作品を募った。

応募作品は小学生の部が149点、中学生の部が23点で合計172点の応募があった。その中か



ら19点の入賞作品が選ばれた。受賞者は以下のとおりである。

<受賞者>(敬称略)

関宿城博物館長賞	小川 宗杜
優秀賞(小学生の部)	因田 那奈
優秀賞(小学生の部)	神田 晴貴
優秀賞(小学生の部)	田渕 華成
優秀賞(小学生の部)	岡田 彩夏
優秀賞(小学生の部)	高田 龍聖
優秀賞(小学生の部)	須賀 雄史
優秀賞(小学生の部)	柴山 龍也
優秀賞(小学生の部)	佐藤 寧々
佳作(小学生の部)	石井 大遥
佳作(小学生の部)	金子 歩
佳作(小学生の部)	永塚 美桜
佳作(小学生の部)	兼平 雅希
佳作(小学生の部)	小笠原 康晴
佳作(小学生の部)	鈴木 麻耶
佳作(小学生の部)	ホソコ ケビン ルイス
佳作(中学生の部)	朝比奈 侑杏
佳作(中学生の部)	小島 光正
佳作(中学生の部)	金井 優真

(3) 版画展

①地井紅雲版画展—白と黒の世界 part 2—

開催期間 4月1日(火)～

5月6日(振休・火)

<2月15日(土)～>

開催日数 32日(70日)

見学者数 26,969人(35,430人)

野田・関宿の景色を中心に日本人の心のふるさとを表現した版画19点の作品を3階多目的室で展示した。3年連続して同時期に野田・関宿の風景を中心にした版画展を開催。今回は2年目に当たる。野田・関宿の懐かしい景色を描いた作品と共に、世界遺産となった富士山の作品も好評であった。



②地井紅雲版画展—白と黒の世界 part 3—

開催期間 2月14日(土)～3月22日(日)

開催日数 32日

見学者数 8,120人

野田・関宿の景色を中心に日本人の心のふるさとを表現した版画18点を3階多目的室で展示した。今回は最終の3年目に当たる。野田・関宿の風景と共に、日本各地の風光明媚な景色を描いた作品が好評であった。



[4] イベント

(1) 第16回関宿城将棋大会

①大人の部

期 日 5月4日(祝・日)

参加者数 64人(定員64名)

始めに、4人で1つのグループをつかってリーグ戦をおこない、1位から4位までの順位を決めた。次に、1位グループをA級、2位グループをB級、・・・とし、各級16人でトーナメント戦を行い、それぞれの級で優勝、準優勝、3位の優秀者を決めた。熱戦の末、美馬和夫さん(茨城県牛久市)がA級で優勝した。



<優勝者> (敬称略)

A級優勝 美馬和夫

B級優勝 光山誠人

C級優勝 大塚瑛斗

D級優勝 高橋篤郎

②子どもの部

期 日 5月5日(祝・月)

参加者数 70人(定員64名)

対局の方法は前日の大人の部と同じで、午前中に予選リーグ戦が終了した。昼食を挟んで、午後は各級でのトーナメント戦を行い、各級の優秀者が決定した。A級では、渡辺晴磨さん(松戸市)が優勝した。

<優勝者> (敬称略)

A級優勝 渡辺晴磨

B級優勝 松ヶ谷太陽

C級優勝 小林 奏

D級優勝 仲條雄也



(2) 関宿城で初日の出をみよう

期 日 1月1日(祝・木)

参加者数 35人(定員40名)

担 当 学芸課長 横山 仁

薄暗い午前6時30分に集合し、集会室で新年のあいさつをした後、全員で4階の展望室にのぼった。野田市の初日の出時刻は午前6時51分。東の空に雲が架かり、初日の出時刻は幾分遅れたが、雲の隙間から太陽を覗かせた瞬間、参加者は一斉にカメラのシャッターを切っていた。太陽が昇るにつれ、富士山に光が当たり、稜線がくっきりと見えるようになっていた。

初日の出を見終わった後、すぐに帰宅した参加者や、館内の展示物を見学する参加者がいた。



(3) 第19回関宿城まつり
第7回関宿城さくらまつり

期 日 4月13日(日)

参加者数 18,000人

「関宿城まつり」と「関宿城さくらまつり」との合同の催しである。

「関宿城まつり」は大名行列をメインとして、関宿城博物館周辺で古武道の演武や和太鼓演奏などが行われた。

「関宿城さくらまつり」は会場の東側にステージが設営され、フラダンスや和太鼓の演舞などが行われた。



[5] 刊行物

展示内容の理解を助けるパンフレット・解説シート類及び、企画展の開催を広報するポスターの他に冊子として刊行したものは以下のとおり

りである。

- ・企画展図録「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山―海運へのターニングポイント―」

A4版 64頁、700部 (2014.10.7)

- ・研究報告第19号

A4版 58頁、200部 (2015.3.24)

[6] 情報提供

今年度も、企画展を始め各事業の開催について、地元記者クラブなどへの情報提供を行うほか、各市町発行の広報誌や地元タウン誌にもきめ細かく情報を提供した。

(1) 新聞での報道

- ・ 5月6日(祝・火) 読売新聞 第16回関宿城将棋大会の紹介
- ・ 7月31日(木) 東京新聞 パネル展「写真で見る日本の城」の紹介
- ・ 8月22日(金) 地域新聞社 関宿城写生コンクール作品展の紹介
- ・ 11月4日(火) 東京新聞 企画展「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山―海運へのターニングポイント―」の紹介
- ・ 11月6日(木) 茨城新聞 企画展「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山―海運へのターニングポイント―」の紹介
- ・ 11月7日(金) 毎日新聞 企画展「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山―海運へのターニングポイント―」の紹介
- ・ 12月11日(木) 公明新聞 千葉県観光情報「冬の彩り」博物館の紹介
- ・ 12月25日(木) 千葉日報 体験教室「関宿城新春たこあげ」の紹介
- ・ 1月14日(水) 朝日新聞「千葉マリオ

ン」 博物館セミナー
の紹介

- ・ 2月19日(木) 千葉日報 出前展示・パネル展「戦国期から江戸期の関宿」及び展覧会「地井紅雲版画展」の紹介
- ・ 2月24日(火) 朝日新聞「千葉マリオン」 体験教室「関宿城下を歩こう(1日コース)」の紹介

(2) テレビでの報道

- ・ 4月19日(土) 正午～午後1時30分 フジテレビ「ぶらぶらサタデー」 博物館の紹介
- ・ 5月5日(祝・月) 午後6時～ JCNコアラ葛飾「デイリーニュース」 第16回関宿城将棋大会
- ・ 6月14日(土) 午後8時～8時25分 チバテレビ「ちば見聞録」 利根川紀行(前編)
- ・ 6月21日(土) 午後8時～8時25分 チバテレビ「ちば見聞録」 利根川紀行(後編)
- ・ 10月1日(水)～15日(水) JCOM葛飾「故郷巡景」野田編 博物館の紹介

(3) ラジオでの報道

- ・ 12月25日(木) NHK・FMちば「ひるどき情報ちば」 展覧会「凧の競演」の紹介

(4) ホームページ等による広報

関宿城博物館の概要や行事の開催案内を、ホームページならではの速報性をもって情報提供している。また、「せきはくマガジン」の配信も行っている。今年度は4月20日付け第17

0(92)号～3月20日付け第181(103)号までの配信を行った。

[7] 平成26年度の博物館実習について

当館では、学芸員資格取得に必要な単位取得のため、大学の依頼により博物館実習を実施している。

今年度は、次の2大学より2名を受け入れた。

- ・ 二松学舎大学 1名
- ・ 埼玉学園大学 1名

期 間 7月23日(水)～7月31日(木)

日程及び内容

日程	内 容
1日目	開講式、オリエンテーション、施設見学、博物館の概要、博物館の管理運営
2日目	展示・普及・研究事業の概要 博物館事業の集計
3日目	広報活動の実務
4日目	資料分類・整理の実務 資料取扱の実務
5日目	普及体験事業の実務 (体験教室「飛ばせ水ロケット」)
6日目	実習休み
7日目	展示計画の実務(計画立案) 展示計画の実務(計画書の作成)
8日目	展示計画の実務(計画書の作成)
9日目	展示計画のとりまとめと発表準備 実習まとめ・講評・館長講話・閉講式

[8] 学校との連携

各学校において、総合学習として博物館を利用するケースが多い。それに対応するため、当館は事前に見学の打ち合わせを行っている。

また、職場体験学習・出前授業・教員研修などの要請にも対応している。

(1) 団体見学の対応

別項「平成26年度の主な事業と来館者」を参照する。

(2) 異業種体験研修

- ・ 8月28日(木)
柏市立松葉中学校教諭 1人

(3) フォローアップⅡ研修

- ・ 12月20日(土)

野田市立関宿中学校教諭 1人
野田市立川間中学校教諭 2人

[9] 社会教育機関等との連携

団体見学や出前講座などの要請に対応している。

(1) 団体見学の対応

別項「平成26年度の主な事業と来館者」を参照する。

(2) 出前講座

- ・ 9月2日(火)
公益財団法人いきいき埼玉彩の国いきがい大学春日部学園 25人
- ・ 1月15日(木)
千葉県立中央博物館大多喜城分館 12人
- ・ 1月31日(土)
野田市立せきやど図書館 36人

(3) 出前展示

- ・ 2月7日(土)～3月1日(日)
さわやかちば県民プラザ
パネル展「戦国期から江戸期の関宿」 27,349人

[10] ボランティア活動状況

- ・ 展示ガイダンス 延べ 87人
- ・ 博物館資料整理 延べ 97人
- ・ 昔の道具体験指導 延べ 14人
- ・ 郷土食講座(関宿そば打ち愛好会) 延べ 7人
- ・ 古文書解説(古文書研究会) 延べ 144人

3 資料の収蔵・整備

寄贈資料

研究および展示等に活用するため、以下の資料の寄贈を受けた。

資料名	点数
長火鉢	1

4 調査研究

平成8年度以降、年度ごとにその成果を「研究報告」誌上で発表している。今年度は「研究報告」第19号を刊行した。

【研究報告第19号掲載論文】

[論文]

石田年子 野田市の回国塔と嶋村庄蔵の納経帳
[史料紹介]

中村正己 関藩年譜(三)

千葉県立関宿城博物館 古文書研究会
横田家仕宦録(一)

[研究ノート]

中村正己 武術家佚斎樗山の天狗芸術論と田舎
莊子猫之妙術について

松井哲洋 五大力船の残影を求めてー船橋市浜
町の滯に沈む船ー

岩槻秀明 鎮守の森、史跡等の植生(1)
ー駒形神社及び稲荷神社(野田市木
間ヶ瀬地区)ー

5 平成26年度の資料活用

- ・ 「神幸軍神祭御船遊之図」
株式会社G.B
『週刊日本の神社』への掲載
- ・ 平将門画像(歌川国貞)
株式会社NHK出版
「NHK 幻解!超常ファイル~ダークサイ
ド・ミステリー」への掲載
- ・ 館外観
野田市議会事務局
「のだ市議会だより」への掲載
- ・ 館外観写真ほか7点
野田市役所商工観光課
「川のまちネットワーク観光ガイドマッ
プ」への掲載
- ・ 館外観・内観及び4階展望室からの眺望
ジャパンプロデュース
フジテレビ「ぶらぶらサタデー」にて放
映
- ・ 「関宿城と富士」写真
千葉県立市原高等学校
「全国高等学校国語研究連合会第47回
研究大会千葉県大会」案内への掲載
- ・ 築田家文書 永禄10年卯月17日 北
条氏照起請文 他6点
八王子市役所
八王子市市史編集委員会『新八王子市
史』資料編2中世への掲載

- ・「関宿城と富士」写真
まちぶら編集部
「まちぶら」野田物語への掲載
- ・五木田家文書 複製資料
千葉県文書館
千葉県史収集複製資料として公開
- ・第16回関宿城将棋大会（5日）の対戦
風景及び表彰式等風景
読売新聞東京本社柏支局
読売新聞朝刊への掲載
- ・「安政風聞集」
株式会社ネクサス
「謎解き！江戸のススメ」（江戸の農業）への掲載
- ・エントランスホールと第1～3展示室内
及び展示資料等
千葉テレビ放送株式会社
千葉テレビ『ちば見聞録』「利根川紀行
前編・後編」にて放映5.26
- ・「安政風聞集」
株式会社スタジオポルト
『地図と写真から見える！ 日本の街道
歴史を巡る！』への掲載
- ・「関宿土産」他3点
埼玉県立歴史と民俗の博物館
特別展「にっぽん歴史海道 江戸の街道
（みち）～絵図でたどる宿場と関所～」
パネルでの展示
- ・「某制札」『築田家文書』
仙台市博物館
『市史せんだい』vol.24への掲載
- ・「北条氏綱起請文」『築田家文書』
横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館企画展「蒔田の吉良氏
－戦国まぼろしの蒔田城と姫君－」パネ
ル及び図録への掲載
- ・浮世絵「相馬の古内裏」
千葉県立中央博物館
平成26年度トピックス展「もののけ来
るぞ！ 浮世絵の中のもののけ」での展
示及び、ホームページに掲載及び展示会
期中の教育普及イベント並びに平成2
6年度「千葉県博図公連携事業」に係る
「もののけ展示キット」に活用
- ・絵図パネル「関東の水運鳥瞰図」
東京工業大学地球生命研究所
東京地学協会「地学雑誌」123巻4号
特集号「東京－過去・現在・未来（P a
r t III）への掲載
- ・「名所江戸百景 鎧のわたし」他3点
栃木県立博物館
平成26年度秋季企画展「江戸とつな
がる川の道－近世下野の水運－」での展示
及び、図録・ホームページへの掲載
- ・「利根川洪水写真」の内「印旛郡安食町
字須賀新田地先内湛水被害状況」
株式会社ハウフルス
テレビ東京『出沒！アド街ック天国』#
977 流山にて放映
- ・『江戸名所図会』日本橋魚市
株式会社ザ・ワークス
TBS『生き物にサンキュー！』にて放
映
- ・平成25年度関宿城百景写真展 千葉県
立関宿城博物館長賞作品須賀又一氏「こ
ぶしの咲くころ」
野田市関宿商工会
野田市関宿商工会「2015年カレンダ
ー」への掲載
- ・脇差 銘 大和守藤原金蔵
日本美術刀剣保存協会茨城県西北支部
中野秀哉
調査研究のため閲覧・撮影
- ・「安政風聞集」
株式会社NEXT EP
NHK総合「キッチンが走る！」にて放
映
- ・常設展示風景
K's C r e a t i o n
JCOM『故郷巡景』野田編にて放映
- ・「老中久世大和守書状（広之）」写真他
68点
野田市役所
『野田市史資料編近世1』への掲載
- ・「富士山と関宿城博物館」写真ほか1点
野田市郷土博物館
平成26年度特別展「野田の見どころ～
おかげさまで10年むらさきの里野田

- ガイドの会」での展示
- ・千葉県立関宿城博物館 平成23年度企画展『猿島茶と水運－江戸後期から明治期を中心に－』から「中山元成」写真ほか1点
株式会社スローハンド
BSジャパン「道の駅 ぷらり散歩美人」にて放映
 - ・館外観
輪々舎
野田市観光協会ホームページへの掲載
 - ・「火災地震番付」
株式会社悠工房
『センター試験本番レベル模試日本史』への掲載
 - ・『土木工要録』の内、掛渡井之図および濃州流坑樋之図
日野町教育委員会
『近江日野の歴史』第九巻「絵図・要覧編」への掲載
 - ・近世河岸の賑わい模型写真
株式会社浜島書店
『千葉県地域の歴史を調べよう』への掲載
 - ・「平親王将門と俵藤太秀郷」
株式会社ユーフィールド
フジテレビ特番「この目でミステリー」にて放映
 - ・築田家文書「北条氏綱起請文」ほか3点
吉川市教育委員会
『吉川市史通史編1』への掲載
 - ・横田家文書「一札之事」ほか1点
コーディネーターズ・のだ
コーディネーターズ・のだ主催「古文書入門講座」第2回および第3回用教材への掲載
 - ・高瀬船模型（縮尺1／50）
野田市立せきやど図書館
野田市立せきやど図書館開催講座「舟運で栄えた関宿」にて展示及び、同案内チラシへの掲載
 - ・「相馬の古内裏（歌川国芳画）」
朝日新聞出版
朝日ジュニアシリーズ『週刊マンガ日本史』13号所収「平将門」への掲載
 - ・千葉県立関宿城博物館 平成23年度企画展「猿島茶と水運－江戸後期から明治期を中心に－」図録掲載画像「図1 関宿藩の領地」ほか13点
古河市役所
「さしま茶のあゆみとこれからのさしま茶へ」配布資料への掲載
 - ・「利根川筋絵図（複製）」ほか24点
流山市立博物館
平成26年度地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山－海運へのターニングポイント－」開催での展示
 - ・常設展展示風景
株式会社JTBパブリッシング
月刊『ノジュール』2月号への掲載
 - ・平成26年度関宿城百景写真展 野田市関宿商工会長賞作品 筑井正氏「庭園の秋」
野田市関宿商工会
野田市関宿商工会 広報誌「ホロン」127号への掲載
 - ・館の外観・常設展示室の風景・企画展示室の風景・体験教室の様子
株式会社どりむ社
『親子で楽しむ教育情報誌 関塾タイムス』4月号への掲載
 - ・館の外観写真・同桜の写真
サンケイリビング新聞社
「あんふあん（千葉版）春休み号」への掲載
 - ・築田家文書「北条氏綱起請文」
久喜市教育委員会
『久喜市栗橋町史第一巻通史編上』への掲載
 - ・『中鶴家文書』のうち『野田市史資料編 近世1』780頁掲載写真の一部
野田市役所
野田市史講演会案内チラシへの掲載
 - ・「東京両国通運会社川蒸気往復盛栄真景之図」
流山市立博物館
流山市教育委員会発行『ふるさと流山のあゆみ』への掲載

- ・浮世絵「中古倭風俗 日光御社参栗橋渡
船橋の図」
久喜市栗橋観光協会
久喜市栗橋観光協会刊『栗橋関所』への
掲載
- ・第16回関宿城将棋大会（子どもの部）
対戦風景写真
地域新聞社越谷支社
「ちいき新聞」野田版4月17日号への
掲載
- ・佐藤氏寄託資料「脇差 無銘」ほか 10
点
佐藤宣夫ほか
調査のための閲覧
- ・高瀬船の帆
鈴木まどか
調査のため閲覧
- ・「老中連署書状」他 5 点
野田市史編纂室
野田市史編さんのため閲覧
- ・築田家文書 永禄4年12月吉日 近衛
前久起請文ほか 19 点
八王子市史編さん室
八王子市史編さんのため閲覧
- ・「久世氏之系」
増田広
調査のための閲覧
- ・「関宿藩士人名録」ほか 2 点
坂本品
調査のための閲覧
- ・「宝蔵院伝書」ほか 2 点
石川哲也
調査のための閲覧

V 資 料

1 条例・規則

教育機関設置条例

昭和 32.4.1 条例第 4 号
最終改正 平成 24.3.23 条例第 33 号

第 6 節 博物館

(目的)

第 19 条 博物館は、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うことを目的とする。

(名称及び位置)

第 20 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
千葉県立美術館	千葉市
千葉県立中央博物館	千葉市
千葉県立現代産業科学館	市川市
千葉県立関宿城博物館	野田市
千葉県立房総のむら	印旛郡栄町

(分館)

第 20 条の 2 千葉県立中央博物館に分館を置く。

2 分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
千葉県立中央博物館大利根分館	香取市
千葉県立中央博物館大多喜城分館	夷隅郡大多喜町
千葉県立中央博物館分館海の博物館	勝浦市

(業務)

第 21 条 博物館は、博物館法第 3 条第 1 項各号に掲げる事業を行う。

(博物館協議会)

第 21 条の 2 博物館に博物館協議会を置く。

2 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、10 人以内とする。

4 第 2 項の委員の任期は 2 年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

5 第 3 項に定めるもののほか、博物館協議会の組

織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

教育機関組織規則 昭和 35.4.1 教育委員会規則第 3 号
最終改正 平成 20.3.31 教育委員会規則第 8 号

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この規則は、教育機関設置条例（昭和 32 年千葉県条例第 4 号。以下、「条例」という。）第 1 条に規定する教育機関の組織、職制及び職員の職の設置等について定めることを目的とする。

第 5 節 博物館

(組織及び職制)

第 13 条 条例第 20 条に規定する博物館（千葉県立房総のむらを除く。以下「博物館」という。）に館長を置く。ただし、千葉県立美術館、千葉県立中央博物館及び千葉県立現代産業科学館には館長及び副館長を置く。

第 13 条 3 千葉県立関宿城博物館に次に掲げる課を置く。

庶務課

学芸課

2 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

庶務課

(1) 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。

(2) 予算の経理、決算その他会計事務に関すること。

(3) 職員の給与、服務その他人事及び福利厚生に関すること。

(4) 他の博物館及び関係団体等との連絡に関すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、他の課に属さない事務。

学芸課

(1) 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 博物館資料の技術的、専門的な調査研究に関すること。

(3) 博物館資料の鑑査、貸出し及び交換に関すること。

(4) 博物館資料に関する解説書、目録、研究報告等

の作成に関すること。

- (5) 特別展覧会、講習会、研究会等の開催及び広報普及に関すること。

博物館管理規則 昭和 45.12.25 教育委員会規則第 22 号
最終改正 平成 18. 3.30 教育委員会規則第 13 号

(目的)

第 1 条 この規則は、教育機関設置条例（昭和 32 年千葉県条例第 4 号）第 20 条の規定する博物館（千葉県立房総のむらを除く。以下「館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 館の開館時間は、午前 9 時から午後 4 時 30 分までとする。

2 館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 定期休館日 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）
(2) 年始休館日 1 月 1 日から 1 月 4 日まで
(3) 年末休館日 12 月 28 日から 12 月 31 日まで
(4) 臨時休館日 特別の事情により、館長が休館を必要と認めた日

2 前項の休館日であっても、館長が特に必要と認めた場合は、館の全部又は一部を開館することができる。

(入館の制限)

第 4 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 入館するときに入場料を払うべき者で、次条に規定する入場券を所持しない者
(2) 適当な指導者、保護者又は付添人のない 6 才に満たない者
(3) 泥酔者その他入館に迷惑を及ぼす行為をしておそれがあると認められる者

(入場券)

第 5 条 館の入場券は、別記第 1 号様式とする。

2 館の特別展覧会又は企画展覧会の開催期間内の入場券は、別記第 2 号様式とする。

3 館の団体（20 人以上の場合をいう。）入場券は、

別記第 3 号様式とする。

4 館の年間入場券は、別記第 4 号様式とする。

5 館の全館共通年間入場券は、別記第 5 号様式とする。

第 6 条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 展示品に手をふれること及び展示室でインク、墨汁類を使用すること。
(2) 許可なくして展示品を模写し、又は撮影すること。
(3) 所定の場所以外の場所において喫煙又は飲食すること。
(4) その他他の入館者の妨げになるような行為をすること。

(損害の賠償)

第 7 条 館長は、入館者が館の展示品、建物若しくは備品等をき損し、又は汚損したときは、現品又は相当の代価をもって弁償させることがある。

(委任)

第 8 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長の承認を得て、館長が定める。

附 則

この規則は、昭和 46 年 1 月 15 日から施行する。
別記様式（省略）

博物館協議会運営規則

昭和 45.5.12 教育委員会規則第 9 号

平成 11.4.1 教育委員会規則第 7 号

最終改正 平成 18.3.30 教育委員会規則第 11 号

(目的)

第 1 条 この規則は、教育機関設置条例（昭和 32 年千葉県条例第 4 号）第 21 条の 2 の規定により、博物館協議会の会議（以下「会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(議長及び副議長)

第 2 条 会議に議長及び副議長を置く。

- 2 議長及び副議長は、委員の互選によって定める。
3 議長及び副議長の任期は、2 年とする。ただし、再選されることができる。
4 議長は会議を主宰する。
5 副議長は、議長を補佐し、議長に事故のあるときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第 3 条 会議は議長が招集する。

- 2 議長は、会議開催の場所、日時及び会議に付議すべき案件を開会日の7日前までに通知しなければならない。ただし、急を要する場合は、この限りでない。

2 平成26年度の主な事業と来館者

4月 1日	辞令交付式	5月 18日	ヨーン（流山市） 〔前期〕そば打ち①
4月 2日	地域活動支援センター すまいる（野田市）		ふれあいの会（松伏町）
4月 8日	柏稲門会（柏市） コープぐんま（桐生市）	5月 20日	わごひろば（境町）
4月 9日	豊岡第一会（入間市） 浦安市社会福祉協議会 海浜1支部	5月 22日	学習院大学 文学部史学科 さくらサロン（牛久市）
4月 11日	野田市立北部小学校	5月 23日	NPO法人宝山会 たから学園（下妻市） ととろクラブ（所沢市）
4月 12日	玉川上水に親しむ会（小金井市）	5月 24日	関宿城下を歩こう （半日コース）①
4月 13日	第19回関宿城まつり 第7回関宿城さくらまつり		船橋・坪井町向台自治会 デイサービスセンター ふれあい（春日部市）
4月 15日	ふる里文化大学 里山クラブ（千葉市）	5月 27日	埼玉県立春日部特別支援学校 野田市立柳沢小学校
4月 17日	啓心荘 ひまわり（野田市）	5月 28日	常総市社会福祉協議会 つくし野みなみサロン（我孫子市）
4月 20日	春日部高校OB会 蓮田支部		
4月 22日	コーナー展 「浮世絵に描かれた富士山」	5月 29日	光遊会（柏市）
4月 23日	幸手ひまわり幼稚園 野田市立東部小学校	5月 31日	曙診療所 通所リハビリテーション（流山市）
4月 26日	関宿城下を歩こう （1日コース）① 印西ウェットランドガイド（白井市）	6月 4日	JAM千葉シニアクラブ（四街道市）
4月 30日	ふなばし市民大学 粋な健Ⅱ	6月 5日	我孫子第一地区民生児童協議会 千葉県生涯大学校 310B会（野田市）
5月 1日	野田市立中央小学校	6月 7日	もりやの歴史を学ぶ会（守谷市）
5月 2日	野田市立宮崎小学校	6月 8日	古文書を読む（入門編）① 青少年対策八潮地区委員会
5月 4日	第16回関宿城将棋大会 （大人の部）	6月 11日	すずのき保育園（坂東市）
5月 5日	第16回関宿城将棋大会 （子どもの部）	6月 13日	調布文学散歩同好会
5月 6日	河川敷のいきものさがし 一草花あそびー	6月 15日	〔前期〕そば打ち② 関宿城大名行列保存会
5月 8日	2014年国際博物館の日記念事業「昔のくらし展」 藤の台・健康ウォーキングの会（春日部市）	6月 17日	日本工業大学（杉戸町）
5月 14日	幸手ひまわり幼稚園 野田市立福田第二小学校	6月 18日	古文書にみる柏歴史研究会 津田歴史探訪の会（ひたちなか市）
5月 15日	春日部市立富多小学校 境町社会福祉協議会 野田市立清水台小学校		NPO法人クラブ幸手
5月 17日	曙診療所 通所リハビリテーション	6月 19日	加須市立大越公民館
		6月 21日	小麦まんじゅうづくり①
		6月 22日	小麦まんじゅうづくり② 京成労組乗務分会（船橋市）
		6月 24日	いきいき環境クラブ

	(さいたま市)	9月27日	博物館セミナー②
6月25日	第30期興風会長寿大学 (野田市)		江戸川河川事務所(野田市) 障害福祉サービス事業所 久喜市あゆみの郷
6月29日	東京成徳大学(八千代市)		
7月1日	パネル展 「写真で見る日本の城」	9月28日	投網漁と川魚料理 国際交流協会(野田市)
7月2日	牛久市観光協会	9月30日	対話と傾聴の会 かしわ(柏市)
7月10日	金山城保存会(太田市) J A茨城みずほ女性部(日立市) 食生活改善推進委員会 加須支部	10月1日	船橋市市民大学OB むーび会
7月13日	古文書を読む(入門編)②	10月2日	デイサービスセンター フラワーヒル(春日部市)
7月15日	古河市文化協会 東友倶楽部(船橋市)	10月3日	東葛飾地区明るい選挙推進協議会(野田市)
7月17日	連合千葉議員団(野田市)		香取市小見川文化協会
7月18日	柏市古文書整理ボランティア	10月7日	地域連携巡回展 「通運丸で結ばれた関宿・野田・流山―海運へのターニングポイント―」
7月19日	[前期] そば打ち③		
7月25日	デイサービス東埼玉(杉戸町)	10月8日	久喜市高齢者大学 30会散策クラブ
7月27日	飛ばせ水ロケット	10月9日	デイサービスセンター フラワーヒル(春日部市)
8月5日	関東に残る名城めぐり(新宿区)	10月11日	[後期] そば打ち① 栃木市教育委員会
8月8日	野田市川間公民館	10月13日	河川敷のいきものさがし ―バッタさがし―
8月10日	古文書を読む(初級編)①	10月14日	松戸市消費者の会
8月19日	中野区上鷲宮四丁目町会	10月15日	きゃんべる(三郷市) 上尾市ふるさと学園 枝友会
8月27日	古河市さくら公民館	10月16日	浦安市美浜公民館 ウエルフェア デイサービス(野田市)
8月28日	クリーベル放課後児童デイサービス(古河市) 船橋市市民大学OB むーび会	10月17日	ウエルフェア デイサービス(野田市) 稲毛ビューハイツ ないすらいふの会(千葉市)
8月31日	博物館セミナー①		
9月4日	加賀友の会(柏市)	10月18日	関宿城下を歩こう (1日コース)②
9月6日	古文書を読む(初級編)②		
9月9日	関宿城写生コンクール作品展 東海シニアさくら会(東海村) 文蔵二丁目自治会(さいたま市) 君津自然観察会	10月19日	通運丸で結ばれた関宿・野田・流山 (株)帝国書院(千代田区)
9月10日	新山明朗会(鎌ヶ谷市)		
9月12日	野田市立福田第一小学校	10月21日	蓮田市立黒浜西小学校 伊坂四丁目自治会(久喜市)
9月13日	栄楽福二会(市川市)	10月22日	浦安市立高洲小学校
9月17日	若草会老人クラブ(千葉市)	10月23日	我孫子を知る会
9月18日	坂東市岩井公民館		
9月19日	野田市南部梅郷公民館		
9月24日	松戸社会見学サークル 泉野エバーグリーンクラブ (板倉町)		
9月26日	良宝園(春日部市)		

10月25日	野田市郷土博物館	市川案内人の会
10月26日	歴史散歩	11月28日 六実会（港区）
10月28日	清秀幼稚園・フェアリーキッズ 保育園（春日部市） 千葉県研教高校地理部会 （八千代市）	11月29日 関宿城下を歩こう （半日コース）②
10月29日	望陽荘 それいゆクラブ(柏市) まくらがの里 どんぐり （古河市） 三郷市書道連盟	12月4日 パネル展 「戦国武将・築田氏の世界」 かすみがうら市 あゆみ庵 加須市騎西文化・学習センター
10月30日	野田市役所 栃木市地域クリーン推進員 岩舟支部	12月6日 版画年賀状教室 ちば元気づくり友の会(千葉市)
11月2日	田賀谷先生を囲む会（久喜市）	12月7日 大福帳型ミニテキストを作ろう
11月3日	地域連携巡回展解説会①	12月9日 福島県双葉町産業建設課
11月5日	三田習地区社会福祉協議会 （船橋市） 東京都西多摩郡町村会	12月12日 さくらふれあいグループ （幸手市）
11月7日	茨城県町村教育長会視察研修会 （境町）	12月13日 大福帳型ミニテキストを作ろう 早稲田大学 教育学部
11月9日	こんにゃくづくり	12月14日 [後期] そば打ち③
11月12日	和み学級（北本市） 日本女子大学 桜楓会柏支部	12月16日 地域連携巡回展 「通運丸で結ばれた関宿・野田 ・流山—海運へのターニング ポイント—」 （流山市立博物館）
11月13日	長生地区行政相談連絡協議会 （一宮町）	12月20日 大福帳型ミニテキストを作ろう
11月14日	行田市地域交流センター	12月21日 博物館セミナー④
11月15日	荻神町会（千葉市） 栃木県博物館協会（宇都宮市）	12月23日 地域連携巡回展解説会① （流山市立博物館）
11月16日	[後期] そば打ち② 新田2・3丁目自治会（市川市）	1月1日 凧の競演 関宿城で初日の出をみよう
11月17日	ヒューマンサポート 古河デイサービスセンター	1月4日 関宿城新春たこあげ 大福帳型ミニテキストを作ろう
11月18日	所沢市高齢者大学 第26期同期会	1月12日 第15回関宿城百景写真展 千葉県生涯大学校 地域活動学 部（野田市）
11月20日	さいたま市シニア大学 大宮校 岡田病院（野田市）	1月15日 野田市立七光台小学校
11月22日	慈光学園（坂東市） 相模原市聴覚障害者協会	1月17日 地域連携巡回展講演会 （流山市生涯学習センター）
11月23日	企画展解説会②	1月18日 博物館セミナー⑤
11月24日	博物館セミナー③	地域連携巡回展 芸道文化講座 （野田市郷土博物館）
11月25日	NPO法人 たんぽぽスマイル（川口市）	1月24日 小麦まんじゅうづくり③
11月27日	岩槻区西町第二自治会 ボランティアガイド	1月25日 小麦まんじゅうづくり④ 1月29日 柏市食品衛生協会

- 2月 3日 公益社団法人
土木学会関東支部
茨城会（水戸市）
- 2月 5日 坂東市立七重小学校
流山市立東深井中学校
- 2月10日 千葉実年大学校 歴史クラブ
（船橋市）
木更津市立浪岡公民館
- 2月11日 **地域連携巡回展解説会①**
（流山市立博物館）
- 2月12日 北部女性セミナー（野田市）
- 2月13日 千葉実年大学校 歴史クラブ
（船橋市）
- 2月14日 **地井紅雲版画展**
一白と黒の世界 part 3 一
千葉市立みつわ台中学校区青少年育成委員会
- 2月15日 **博物館セミナー⑥**
千葉実年大学校 歴史クラブ
（船橋市）
- 2月17日 社会福祉法人
白岡市社会福祉協議会
篠津支部
- 2月19日 堀原地区高齢者クラブ連合会
（水戸市）
- 2月20日 古河市立古河第四小学校
さいたま商工会議所 岩槻支部
- 2月24日 関宿幼稚園
- 2月27日 坂川に清流を取り戻す会
（松戸市役所 河川清流課）
- 2月28日 **鷹菜漬け①**
- 3月 1日 **鷹菜漬け②**
- 3月 4日 フレッシュ会
（柏市大津ヶ丘1丁目老人クラブ）
明治大学博物館友の会
- 3月 5日 助川歴史講座（日立市）
- 3月 6日 我孫子市あらき園
國學院大學博物館学研究室
- 3月 7日 **鷹菜漬け③**
- 3月 8日 **鷹菜漬け④**
- 3月11日 光東クラブ（柏市）
- 3月15日 **博物館セミナー⑦**
- 3月17日 額田城跡保存会（那珂市）
- 3月19日 たんぽぽ福祉村（川口市）
- 3月21日 **関宿城下を歩こう**
（1日コース）③
- 3月24日 **くずし字に親しもう**
- 3月27日 台宿長寿会（取手市）
日立社友クラブ茨城支部
- 3月28日 東京都足立区地域学習団体
花畑四季の会
- 3月29日 四街道稲門会

千葉県立関宿城博物館年報（平成26年度）

平成27年3月31日発行

編集・発行

千葉県立関宿城博物館

〒270-02 千葉県野田市関宿三軒家143-4

TEL 04-7196-1400

FAX 04-7196-3737
